

平成30年度

第1回 市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書広報課

1 アンケートの概要

調査対象者	平成30年度 市政モニター 180人
調査期間	平成30年7月2日(月)～平成30年7月16日(月)
調査方法	郵送またはインターネット
テーマ	① 買い物と新居浜の商店街について ② 滝の宮公園リニューアルについて ③ 新居浜太鼓祭りにおける高校生等のかき夫参加について

回答率

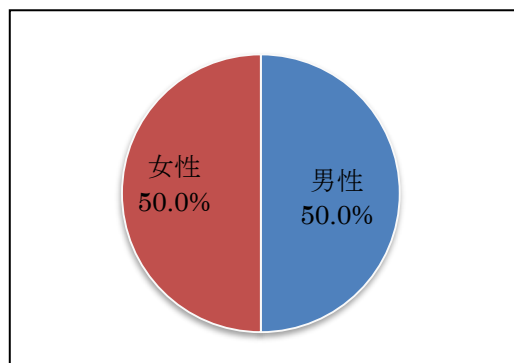
テーマ	モニター数(人)	回答者数(人)	回答率
①	180	165	91.7%
②	180	162	90.0%
③	180	163	90.6%

2 市政モニター内訳(※平成30年7月2日時点)

<性別>

(単位:人)

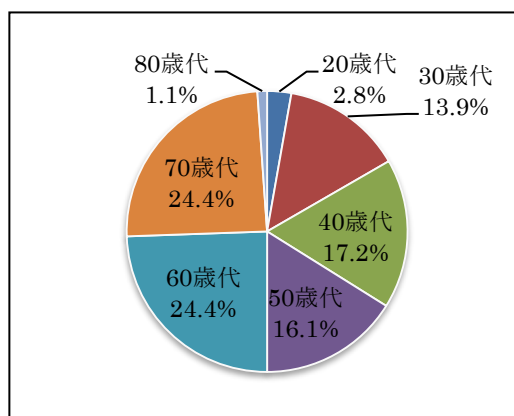
男性	90 (50.0%)
女性	90 (50.0%)
合計	180 (100.0%)



<年代別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
20歳代	2	3	5 (2.8%)
30歳代	3	22	25 (13.9%)
40歳代	12	19	31 (17.2%)
50歳代	13	16	29 (16.1%)
60歳代	28	16	44 (24.4%)
70歳代	30	14	44 (24.4%)
80歳以上	2	0	2 (1.1%)



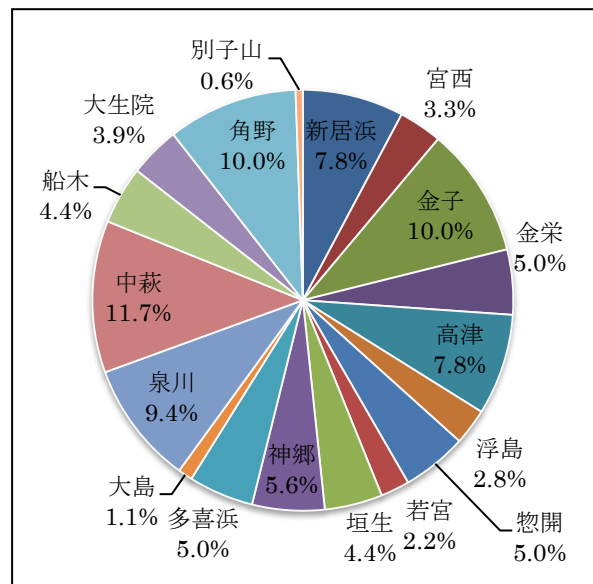
※年齢は平成30年4月1日時点

<居住地域(小学校校区)別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
新居浜	1	13	14 (7.8%)
宮西	4	2	6 (3.3%)
金子	12	6	18 (10.0%)

金栄	4	5	9 (5.0%)
高津	8	6	14 (7.8%)
浮島	3	2	5 (2.8%)
惣開	3	6	9 (5.0%)
若宮	2	2	4 (2.2%)
垣生	3	5	8 (4.4%)
神郷	6	4	10 (5.6%)
多喜浜	2	7	9 (5.0%)
大島	2	0	2 (1.1%)
泉川	12	5	17 (9.4%)
中萩	11	10	21 (11.7%)
船木	5	3	8 (4.4%)
大生院	2	5	7 (3.9%)
角野	9	9	18 (10.0%)
別子山	1	0	1 (0.6%)



<回答方法 種別>

(単位：人)

郵送モニター	106 (58.9%)
Eメールモニター	74 (41.1%)
合計	180 (100.0%)

<選任方法 種別>

(単位：人)

公民館推薦	98 (54.4%)
公募	82 (45.6%)
合計	180 (100.0%)

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

3 調査結果

テーマ① 買い物と新居浜の商店街について

【調査趣旨】

昭和30年代頃から、昭和通り、登り道サンロードを中心とした商店街では、活気にあふれ、買い物に来る人たちが賑わっていました。

しかし、モータリゼーションの進展もあり、郊外への大規模小売店舗の出店が進み、商店街を中心とする中心市街地は空洞化していきました。また、近年においては、インターネットショップが拡大しており、リアル店舗とネット販売の競争も起こるなど、商店街の業況はますます厳しくなっています。

そういった中で、新居浜市民の皆さまに、商店街に対する意識や買い物に対する考えを伺うことによって、今後の中心商店街に関する施策に反映していきたいと思っています。

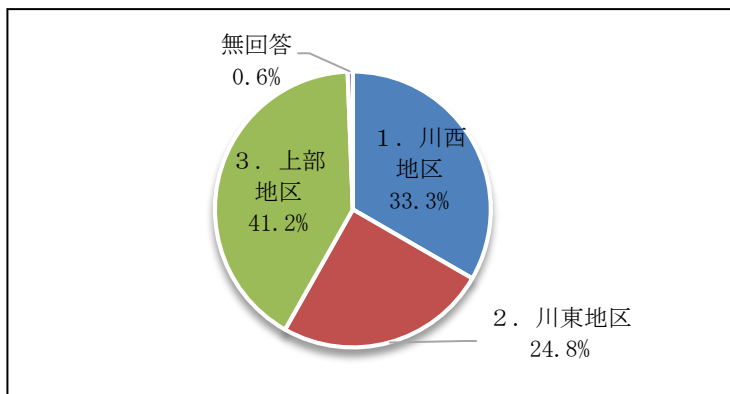
※中心商店街…市街地に位置する商店街。本市では、昭和通り、登り道、銀泉街周辺を指します。

(担当課：産業振興課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

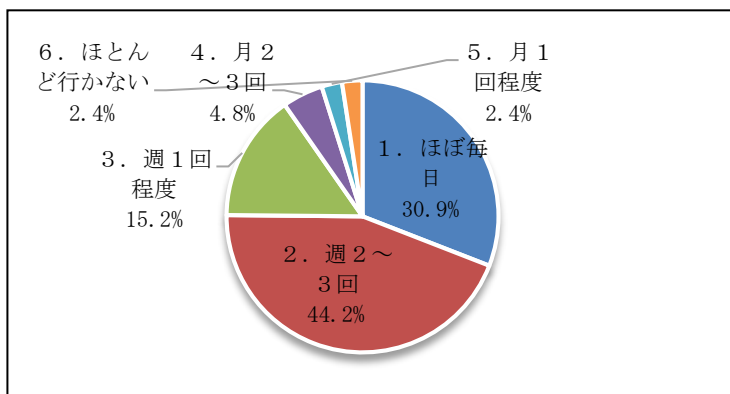
問2. あなたのお住まいはどちらですか。(1つ選択)

1. 川西地区	55人
2. 川東地区	41人
3. 上部地区	68人
無回答	1人
合計	165人



問3. 普段、買い物に出かける回数はどのくらいですか。(1つ選択)

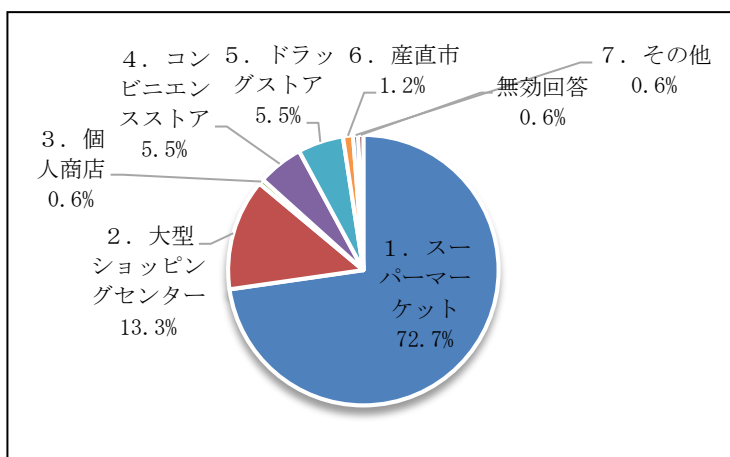
1. ほぼ毎日	51人
2. 週2～3回	73人
3. 週1回程度	25人
4. 月2～3回	8人
5. 月1回程度	4人
6. ほとんど行かない	4人
合計	165人



「1. ほぼ毎日」(30.9%)、「2. 週2～3回」(44.2%)、「3. 週1回程度」(15.2%)と答えた方が多くっており、全体の9割以上の方が、週に1回程度以上は買い物に出かけていることがわかりました。

問4. 日常の買い物で、最もよく利用する店はどのようなお店ですか。(1つ選択)

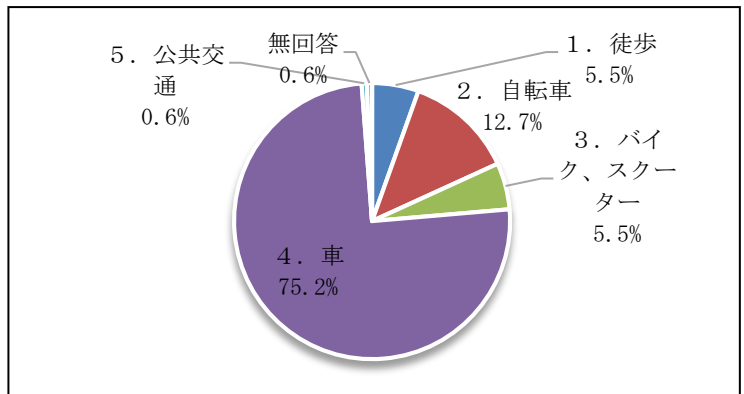
1. スーパーマーケット	120人
2. 大型ショッピングセンター	22人
3. 個人商店	1人
4. コンビニエンスストア	9人
5. ドラッグストア	9人
6. 産直市 (あかがね市、水都市など)	2人
7. その他	1人
無効回答	1人
合計	165人



「1. スーパーマーケット」(72.7%)と答えた方が最も多く、全体の7割を超えています。

問5. 問4で回答した最もよく利用する店まで、どのように移動していますか。(1つ選択)

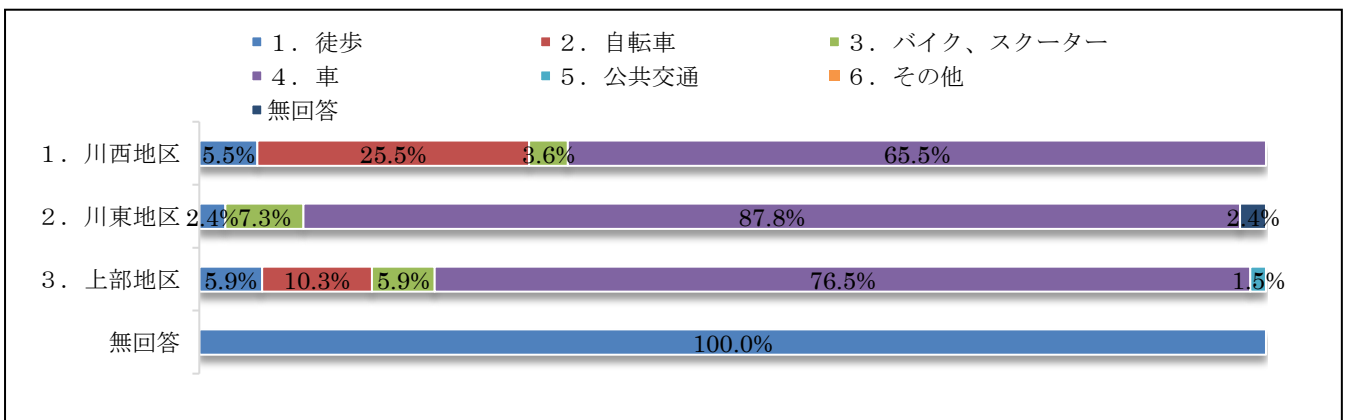
1. 徒歩	9人
2. 自転車	21人
3. バイク、スクーター	9人
4. 車	124人
5. 公共交通	1人
6. その他	0人
無回答	1人
合計	165人



「4. 車」(75.2%)と答えた方が最も多く、全体の7割を超えています。

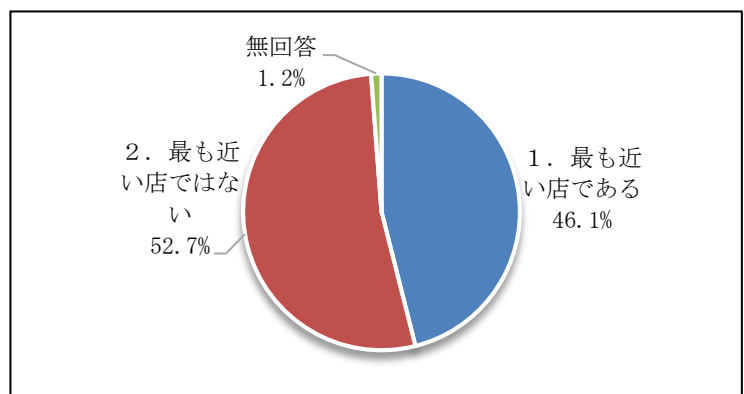
【クロス集計 (問2 (居住地区) × 問5)】

	1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク、スクーター	4. 車	5. 公共交通	6. その他	無回答	合計
1. 川西地区	3人	14人	2人	36人	0人	0人	0人	55人
2. 川東地区	1人	0人	3人	36人	0人	0人	1人	41人
3. 上部地区	4人	7人	4人	52人	1人	0人	0人	68人
無回答	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
合計	9人	21人	9人	124人	1人	0人	1人	165人



問6. 問4で回答したお店はお住まいから最も近い店ですか。(1つ選択)

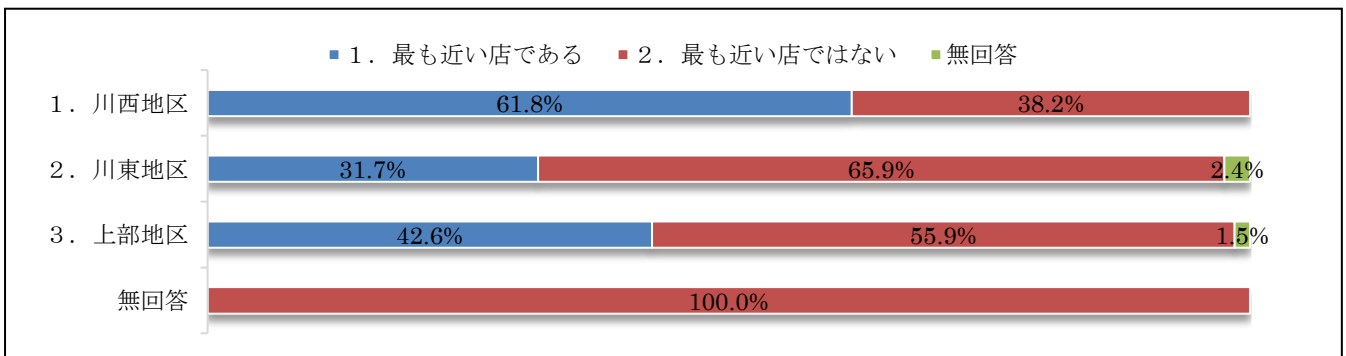
1. 最も近い店である	76人
2. 最も近い店ではない	87人
無回答	2人
合計	165人



「2. 最も近い店ではない」(52.7%)と答えた方が「1. 最も近い店である」(46.1%)をやや上回り、全体の半数以上となっています。

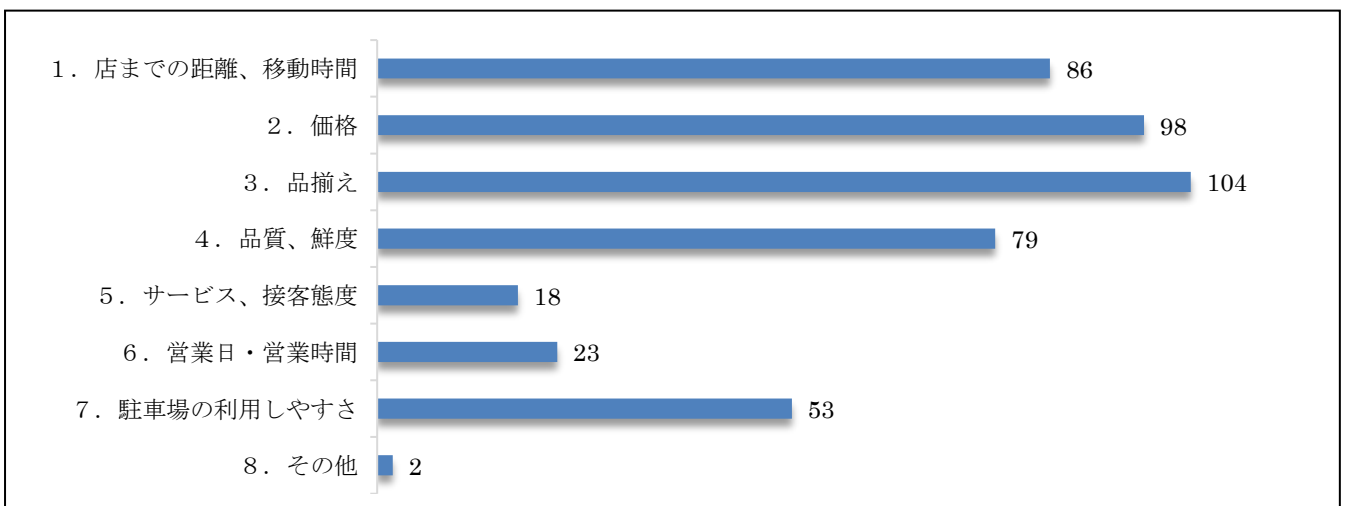
【クロス集計（問2（居住地区）×問6）】

	1. 最も近い店である	2. 最も近い店ではない	無回答	合計
1. 川西地区	34人	21人	0人	55人
2. 川東地区	13人	27人	1人	41人
3. 上部地区	29人	38人	1人	68人
無回答	0人	1人	0人	1人
合計	76人	87人	2人	165人



問7. 普段、買い物をするお店を選ぶ際に重視するものは何ですか。（3つまで選択）

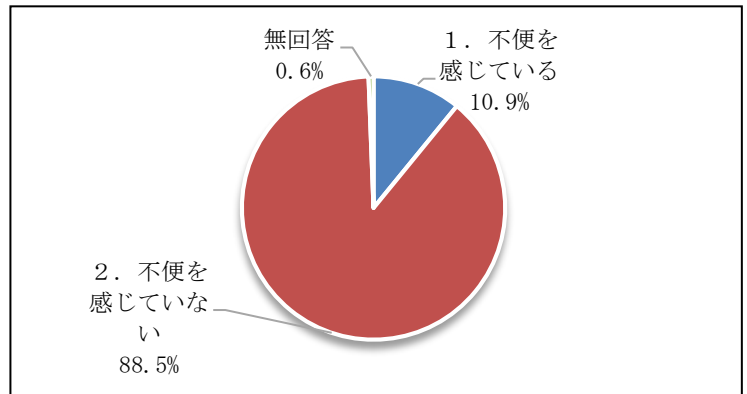
1. 店までの距離、移動時間	86人
2. 価格	98人
3. 品揃え	104人
4. 品質、鮮度	79人
5. サービス、接客態度	18人
6. 営業日・営業時間	23人
7. 駐車場の利用しやすさ	53人
8. その他	2人



「3. 品揃え」(104人)と答えた方が最も多いほか、「2. 価格」(98人)、「1. 店までの距離、移動時間」(86人)、「4. 品質、鮮度」(79人)が、店を選ぶ際に重視するものとして多く挙げられています。

問8. 現在、日常の買い物に関して、不便を感じていますか。(1つ選択)

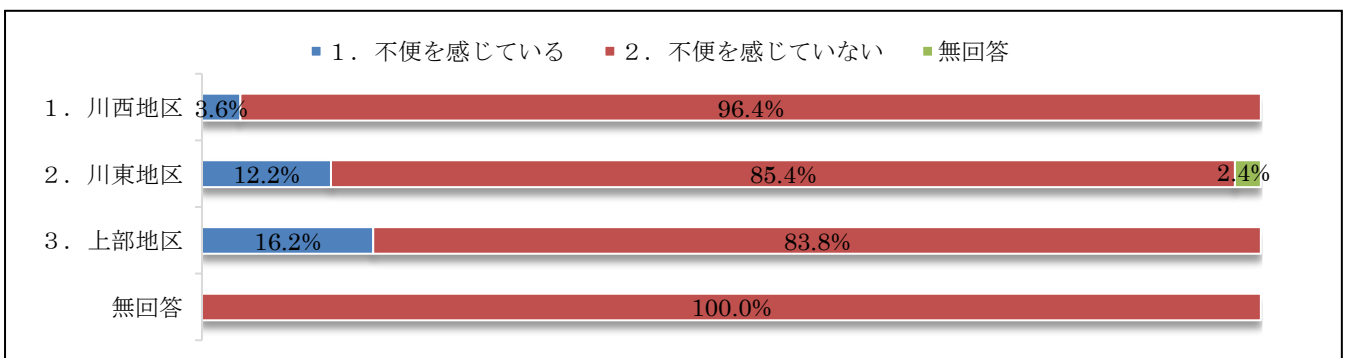
1. 不便を感じている	18人
2. 不便を感じていない	146人
無回答	1人
合計	165人



「2. 不便を感じていない」(88.5%)と答えた方が多く、全体の約9割となっています。

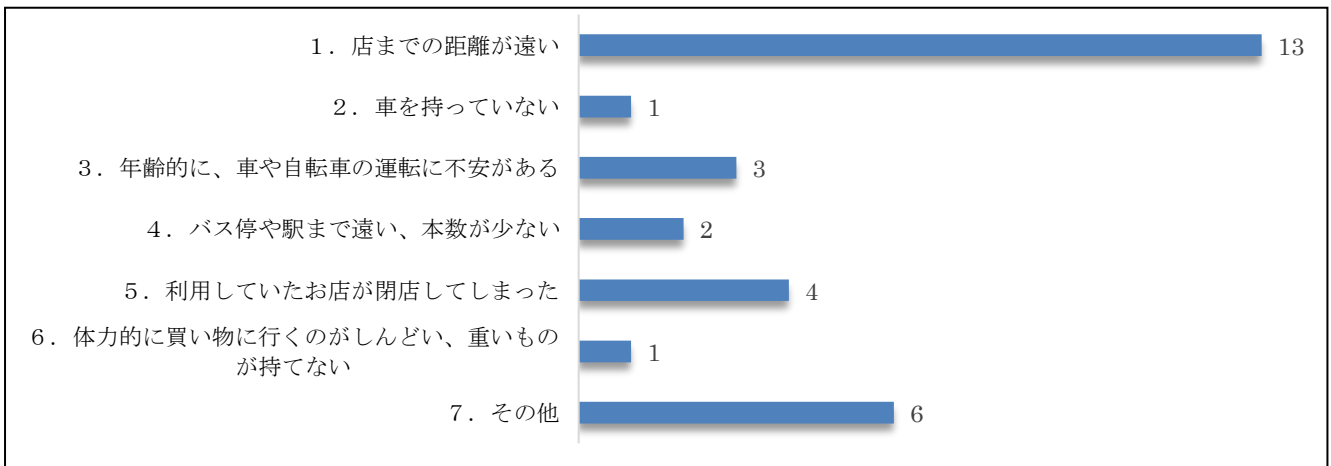
【クロス集計 (問2 (居住地区) × 問8)】

	1. 不便を感じている	2. 不便を感じていない	無回答	合計
1. 川西地区	2人	53人	0人	55人
2. 川東地区	5人	35人	1人	41人
3. 上部地区	11人	57人	0人	68人
無回答	0人	1人	0人	1人
合計	18人	146人	1人	165人



問9. 問8で「1. 不便を感じている」と回答した方にお尋ねします。不便を感じる理由は何ですか。(複数選択)

1. 店までの距離が遠い	13人
2. 車を持っていない	1人
3. 年齢的に、車や自転車の運転に不安がある	3人
4. バス停や駅まで遠い、本数が少ない	2人
5. 利用していたお店が閉店してしまった	4人
6. 体力的に買い物に行くのがしんどい、重いものが持てない	1人
7. その他	6人



不便を感じる理由として、「1. 店までの距離が遠い」(13人)が最も多く挙げられています。

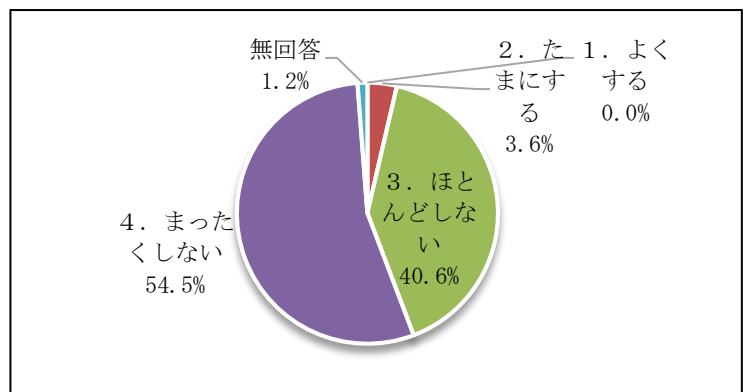
問10. 問9で「7. その他」と答えた方にお尋ねします。不便を感じる理由を記入してください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・お店の品揃えが悪い。
- ・品揃えが悪い。本は発売日に売り出されない。
- ・家から遠い店の方が安い。
- ・店までの距離が遠いので、少しの買い忘れの時にそれだけ買いに行けない。大型商品の配達料金や届くまでの日数がかかる。
- ・大島には商店がなくなった。たばこの自販機に自分の好きな銘柄がない。
- ・フジ東田店が閉店し、新居浜駅前店に移ったかのような実感を受けるが、距離が大幅に遠くなった。やはり、ほどほどの規模のスーパーが歩いて行ける場所にあることが、高齢者の願いでしょう。

問11. あなたは、中心商店街（昭和通り、登り道周辺）で買い物をしますか。(1つ選択)

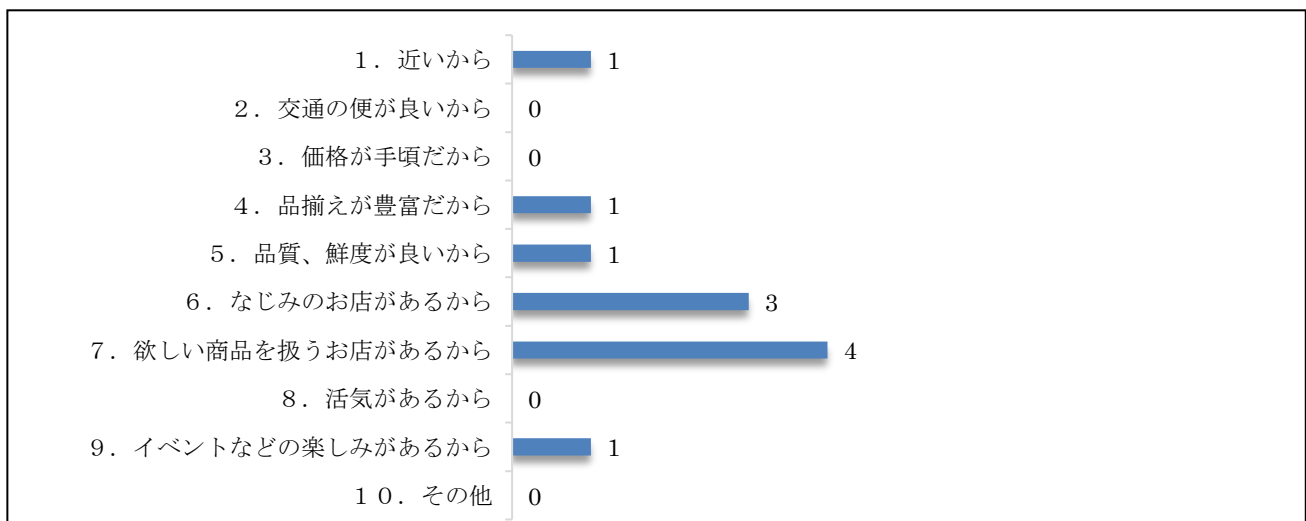
1. よくする	0人
2. たまにする	6人
3. ほとんどしない	67人
4. まったくしない	90人
無回答	2人
合計	165人



「4. まったくしない」(54.5%)と答えた方が最も多く、全体の半数を超えています。「3. ほとんどしない」(40.6%)を合わせると、全体の9割を超える方が中心商店街で買い物をしていない、という現状がわかりました。

問12. 問11で「1. よくする」、「2. たまにする」と回答した方にお尋ねします。中心商店街を利用する理由は何ですか。(3つまで選択)

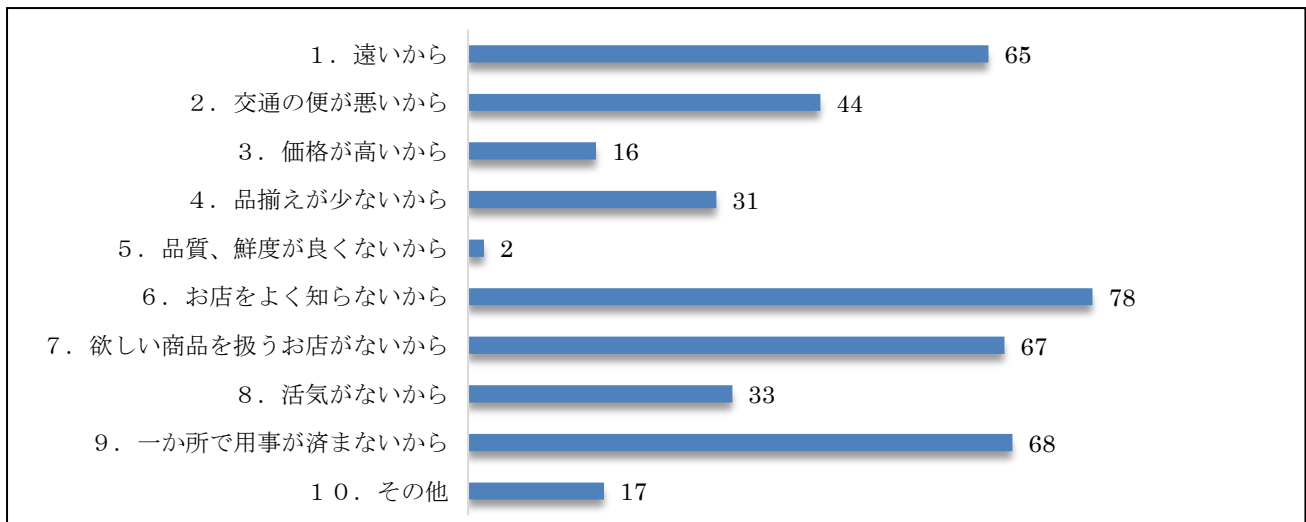
1. 近いから	1人
2. 交通の便が良いから	0人
3. 価格が手頃だから	0人
4. 品揃えが豊富だから	1人
5. 品質、鮮度が良いから	1人
6. なじみのお店があるから	3人
7. 欲しい商品を扱うお店があるから	4人
8. 活気があるから	0人
9. イベントなどの楽しみがあるから	1人
10. その他	0人



「7. 欲しい商品を扱うお店があるから」(4人)、「6. なじみのお店があるから」(3人)が、中心商店街を利用する理由として多く挙げられています。

問13. 問11で「3. ほとんどしない」、「4. まったくしない」と回答した方にお尋ねします。中心商店街を利用しない理由は何ですか。(3つまで選択)

1. 遠いから	65人
2. 交通の便が悪いから	44人
3. 価格が高いから	16人
4. 品揃えが少ないから	31人
5. 品質、鮮度が良くないから	2人
6. お店をよく知らないから	78人
7. 欲しい商品を扱うお店がないから	67人
8. 活気がないから	33人
9. 一か所で用事が済まないから	68人
10. その他	17人



「6. お店をよく知らないから」(78人)、「9. 一か所で用事が済まないから」(68人)、「7. 欲しい商品を扱うお店がないから」(67人)、「1. 遠いから」(65人)などが、中心商店街を利用しない理由として多く挙げられています。

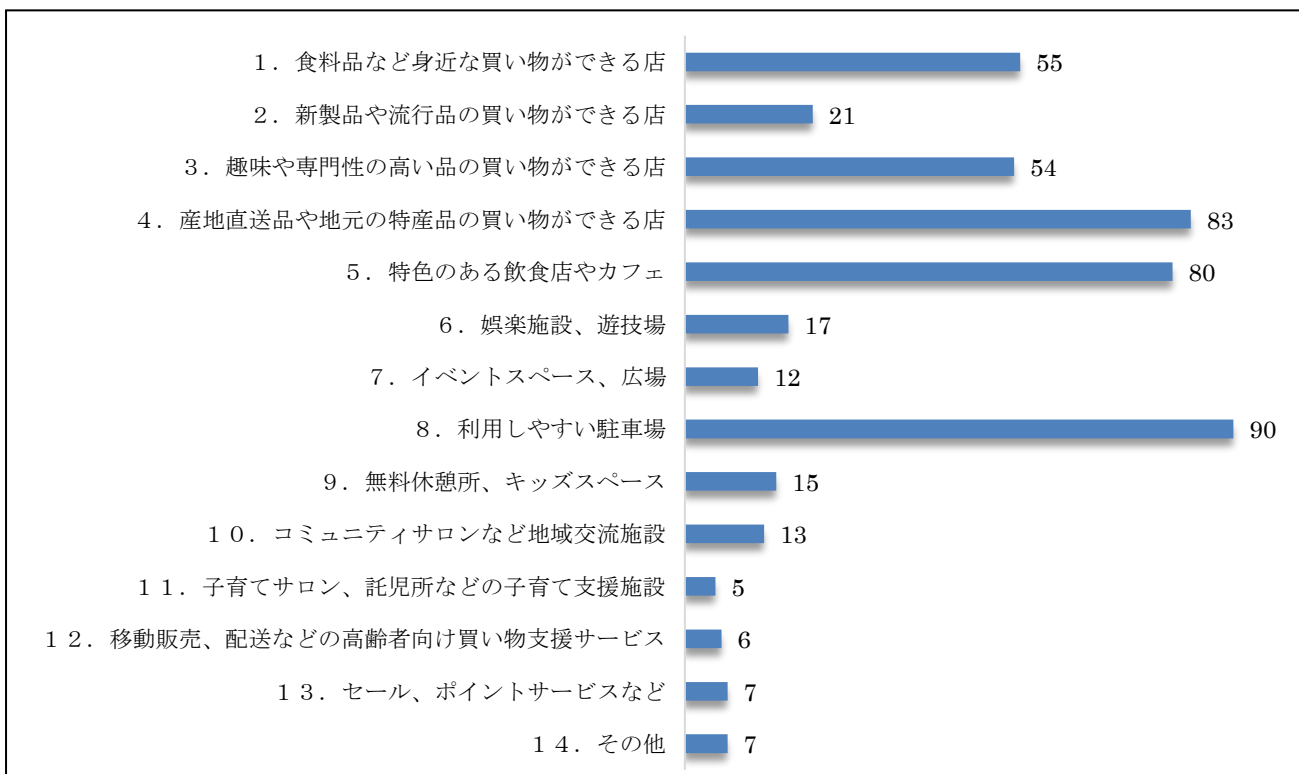
問14. 問12または問13で「10. その他」と回答した方にお尋ねします。中心商店街を利用する、または利用しない理由を記入してください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- 【中心商店街を利用する理由】** 回答なし
- 【中心商店街を利用しない理由】**
- ・わざわざ中心商店街まで行かなくても、近くの店で間に合う。どうしても必要なものを買に行きたい時は、大型ショッピングセンターへ行く。
 - ・自宅周辺にスーパーやコンビニ、ドラッグストア、大型家電店等があり、通常の買い物には不便を感じない。
 - ・以前は利用していたが、大型店で同じ商品が買える。
 - ・中心商店街にはスーパーがなく、不便である。たまにグランフジ新居浜に行くと、1店舗でほとんどの商品がそろるので便利である。「マルナカ」の開店が待ち遠しいです。
 - ・魅力のある品物がない。
 - ・付加価値がない。そこでしか手に入らないものもない。
 - ・駐車場がない、少ない。(※同種意見多数)
 - ・駐車場の場所、料金がよくわからない。
 - ・駐車場が店の前がないので不便。
 - ・有料の駐車場に車を停めてまで買い物しようと思わない。
 - ・開いているお店がない。
 - ・昭和30年代の賑わいへの思いはあるが、今はシャッター通り、「買い物するところ」「商店街」というイメージが全くありません。
 - ・実家が市外の関係で、買い物はほとんど市外でしている。でも目的のものが欲しい時はどこへでも行くので、良いお店があるのを知らないだけかもしれません。
 - ・店の方の愛想がないから。
 - ・常連の方を大切にすあまり、一見の客に対して態度が悪い店があり、不愉快で利用したくない。

問15. 中心商店街にあったら利用したいお店や施設、サービスは何ですか。(複数選択)

1. 食料品など身近な買い物ができる店	55人
2. 新製品や流行品の買い物ができる店	21人
3. 趣味や専門性の高い品の買い物ができる店	54人
4. 産地直送品や地元の特産品の買い物ができる店	83人
5. 特色のある飲食店やカフェ	80人
6. 娯楽施設、遊技場	17人
7. イベントスペース、広場	12人
8. 利用しやすい駐車場	90人
9. 無料休憩所、キッズスペース	15人
10. コミュニティサロンなど地域交流施設	13人
11. 子育てサロン、託児所などの子育て支援施設	5人
12. 移動販売、配送などの高齢者向け買い物支援サービス	6人
13. セール、ポイントサービスなど	7人
14. その他	7人



「8. 利用しやすい駐車場」(90人)、「4. 産地直送品や地元の特産品の買い物ができる店」(83人)、「5. 特色のある飲食店やカフェ」(80人)などが、中心商店街にあったら利用したいお店や施設、サービスとして多く挙げられています。

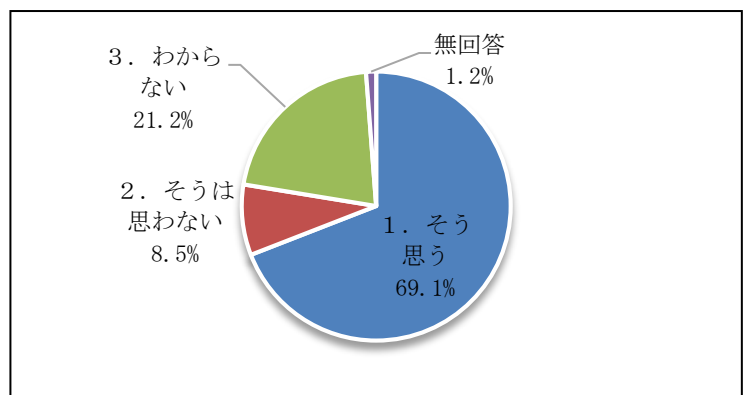
問16. 問15で「14. その他」と回答した方にお尋ねします。中心商店街にあったら利用したいお店や施設、サービスを記入してください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・大型店では手に入らない特別な商品の販売。例えば、新居浜沖で獲れた新鮮な魚やその加工品。
- ・価格（ポイント、サービスデー、株主優待などを含む）、品揃え、交通の便、駐車場で、大型スーパーと勝負できるような店。
- ・まずは「マルナカ」跡地に大きな駐車場を完備したスーパーが必要。そこに車を置いて商店街へ行くので。商店街の中に、昔あったスパゲティやグラタンのおいしい喫茶店やおいしいラーメン屋さんなどを復活させてほしい。とにかくおいしい料理店があれば、きっと足を運びます。
- ・ロッククライミングやアスレチックなど遊べる施設。家族で楽しめる施設が併設されていると利用する。
- ・小学生以下の子どもが楽しめる軽スポーツ施設。
- ・新居浜ならではの商品も揃えた「道の駅」風の販売店はいかがでしょうか。
- ・地域活性化の為に無料で参加できるような、例えば演劇ワークショップができたり劇場のようなもの。
- ・どのような店があり、どのようなものがいくらくらいで売っている、等がわかるようにしてほしい。個人商店等、買い物客の少ないお店に、ふらっと入って見てみようとなかなか思えない。

問17. これからの中心商店街は、身近な買い物場であるだけでなく、地域の交流や子育て・高齢者支援など公共的な役割にも取り組んでいくべきとの意見があります。このことについてどう思いますか。(1つ選択)

1. そう思う	114人
2. そうは思わない	14人
3. わからない	35人
無回答	2人
合計	165人



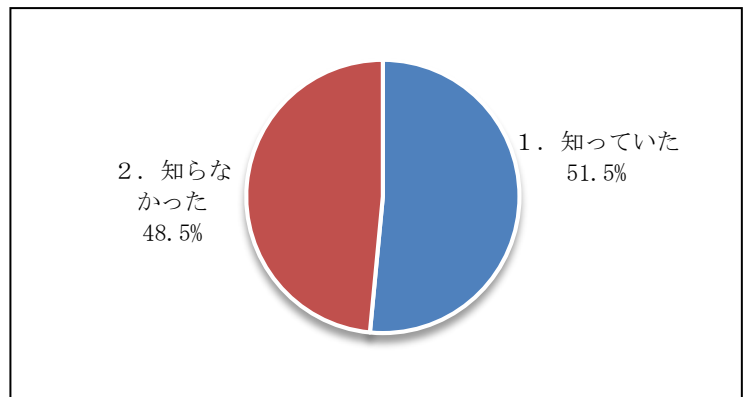
「1. そう思う」(69.1%)と答えた方が最も多く、全体の約7割となっています。



©NPO 法人新居浜まちゅり隊

問18. 「銅夢にいほま」において、試験的に産直市（銅夢マーケット）を開催していた（平成29年1月～7月）ことを知っていましたか。（1つ選択）

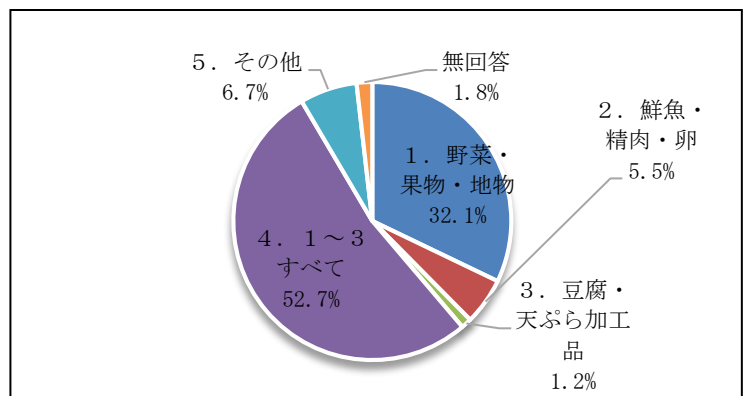
1. 知っていた	85人
2. 知らなかった	80人
合計	165人



全体の約半数の方が、銅夢マーケットについて「2. 知らなかった」（48.5%）と答えています。

問19. 「銅夢にいほま」の産直市に求める品揃えはどれですか。（1つ選択）

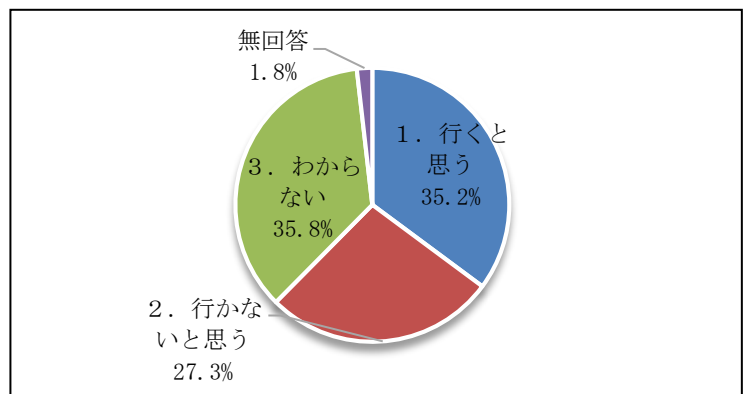
1. 野菜・果物・地物	53人
2. 鮮魚・精肉・卵	9人
3. 豆腐・天ぷら等加工品	2人
4. 1～3すべて	87人
5. その他	11人
無回答	3人
合計	165人



「1. 1～3すべて」（52.7%）と答えた方が最も多く、次いで「1. 野菜・果物・地物」（32.1%）、「5. その他」（6.7%）、「2. 鮮魚・精肉・卵」（5.5%）の順となっています。

問20. 「銅夢にいほま」において、産直市が常設（毎日等）されたら、買い物に行きますか。（1つ選択）

1. 行くと思う	58人
2. 行かないと思う	45人
3. わからない	59人
無回答	3人
合計	165人



「3. わからない」（35.8%）と答えた方が最も多かったものの、「1. 行くと思う」（35.2%）、「2. 行かないと思う」（27.3%）、「3. わからない」（35.8%）がそれぞれ全体の約3割でほぼ同数という結果でした。

<まとめ>

今回のアンケートは、市民の皆さんの買い物に対する考え方や行動、中心商店街に対するニーズ等についてアンケート調査を行い、今後の中心商店街に関する施策を推進するために実施しました。

まず、買い物についてですが、普段買い物に行かれる方は、ドラッグストアの出店が相次ぐ中においても、スーパーマーケットが7割を超えて多く、買い物には車を利用している方が最も多く、駐車場が必要であることがわかります。

また、買い物する店舗選びについては、「品揃え」、「価格」、「店舗までの距離、移動時間」、「品質・鮮度」などが重視されており、さまざまな観点から店舗を選んでいることがわかります。

次に、中心商店街については、「お店をよく知らないから」、「一か所で用事が済まないから」、「欲しい商品を扱うお店がないから」などの理由であまり利用されていないようです。また、中心商店街にあったら利用したいお店については、利用しやすい駐車場はもちろんですが、「特色ある飲食店やカフェ」、「産地直送品や特産品の買い物ができるお店」などの施設の要望が多く挙げられています。

また、「銅夢にいほま」で産直市を開催していることを知っていた方は半数を超えており、「野菜、果物、地物」の品ぞろえを望む方が多くなっていますが、中心商店街に産直市があって買い物に行くと答えられた方は3割程度にとどまっています。

自由記入欄では、情報の広報についてのご意見が多く寄せられ、もっと市民にわかる発信をしてほしいとの声もありました。また、店舗の特色をいかし、そこにしかないものを販売してほしいという声もありました。

今回のアンケート調査により、市内の各店舗が活気に溢れ、中心商店街の賑わいの創出につながり、市民の皆さんが気軽に買い物ができる環境づくりに努めてまいりたいと考えています。

(担当課：産業振興課)



©NPO 法人新居浜まちゆり隊

テーマ② 滝の宮公園リニューアルについて

【調査趣旨】

滝の宮公園は、子育て世代をはじめ多くの市民に健康づくりやレクリエーション等で利用されています。しかし、開設から約60年が経過し、施設の老朽化や貸しボートの廃止、飼育している動物の種類や個体数の減少、寿命によるソメイヨシノの枯死等の問題が生じています。

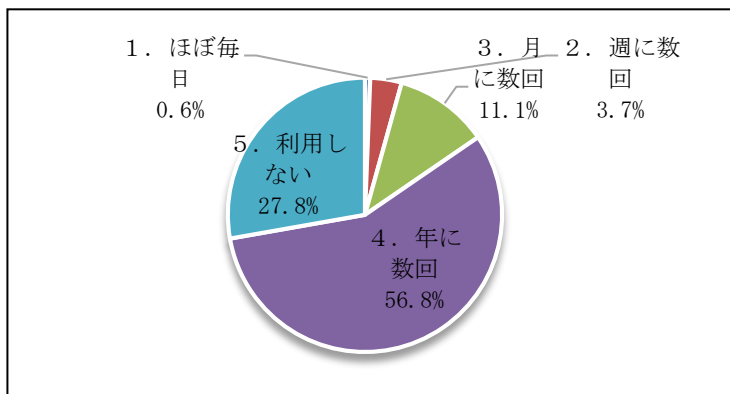
このことから、より一層市民の皆さまに親しまれる公園として復活させるため、「滝の宮公園リニューアルに関する基本計画」を策定することになりました。今回のアンケートでは、滝の宮公園のリニューアルについて市民の皆さまの意識や意見を調査し、計画策定に活用していきたいと考えています。

(担当課：都市計画課)

(※問1はモニター属性確認のための設問であり、省略)

問2. 滝の宮公園をどのくらいの頻度で利用しますか。(1つ選択)

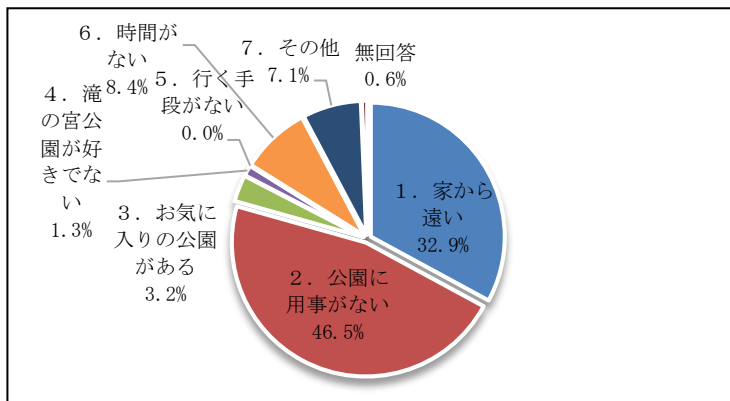
1. ほぼ毎日	1人
2. 週に数回	6人
3. 月に数回	18人
4. 年に数回	92人
5. 利用しない	45人
合計	162人



「4. 年に数回」(56.8%)と答えた方が最も多く、次いで「5. 利用しない」(27.8%)、「3. 月に数回」(11.1%)の順となっています。

問3. 問2で「3. 月に数回」「4. 年に数回」「5. 利用しない」とお答えした方にお伺いします。その理由は何ですか。(1つ選択)

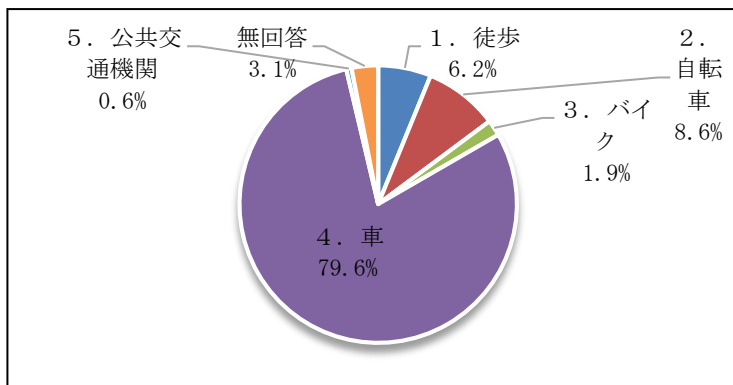
1. 家から遠い	51人
2. 公園に用事がない	72人
3. お気に入りの公園がある	5人
4. 滝の宮公園が好きでない	2人
5. 行く手段がない	0人
6. 時間がない	13人
7. その他	11人
無回答	1人
合計	155人



「2. 公園に用事がない」(46.5%)、「家から遠い」(32.9%)と答えた方が多くなっています。

問4. 滝の宮公園への交通手段を教えてください。(1つ選択)

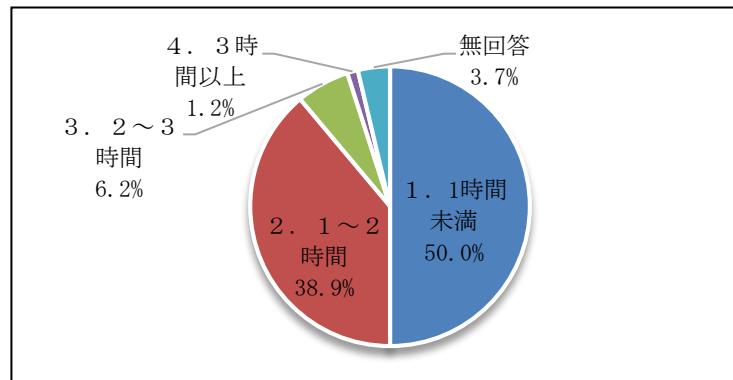
1. 徒歩	10人
2. 自転車	14人
3. バイク	3人
4. 車	129人
5. 公共交通機関	1人
無回答	5人
合計	162人



「4. 車」(79.6%)と答えた方が最も多く、全体の約8割となっています。

問5. 1回あたりの利用時間を教えてください。(1つ選択)

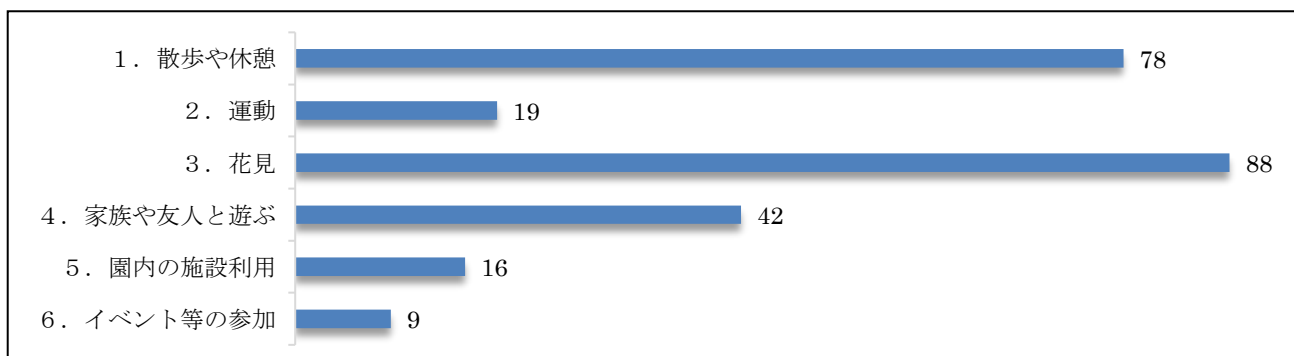
1. 1時間未満	81人
2. 1～2時間	63人
3. 2～3時間	10人
4. 3時間以上	2人
無回答	6人
合計	162人



「1. 1時間未満」(50.0%)、「2. 1～2時間」(38.9%)と答えた方が多くなっています。

問6. 利用した際の主な目的は何ですか。(複数選択)

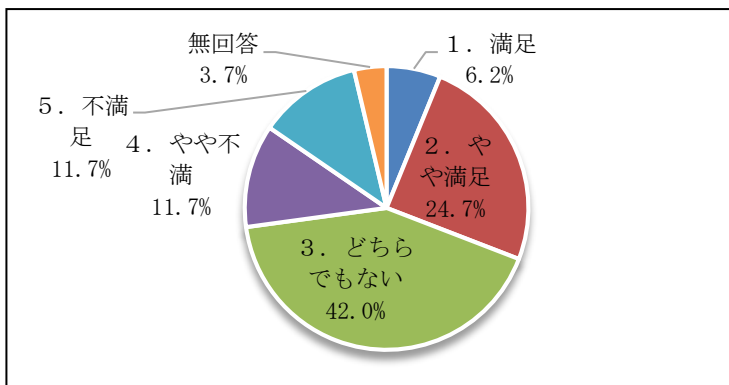
1. 散歩や休憩	78人
2. 運動	19人
3. 花見	88人
4. 家族や友人と遊ぶ	42人
5. 園内の施設利用	16人
6. イベント等の参加	9人



「3. 花見」(88人)、「1. 散歩や休憩」(78人)などが、利用の主な目的として多く挙げられています。

問7. 現在の滝の宮公園に満足していますか。(1つ選択)

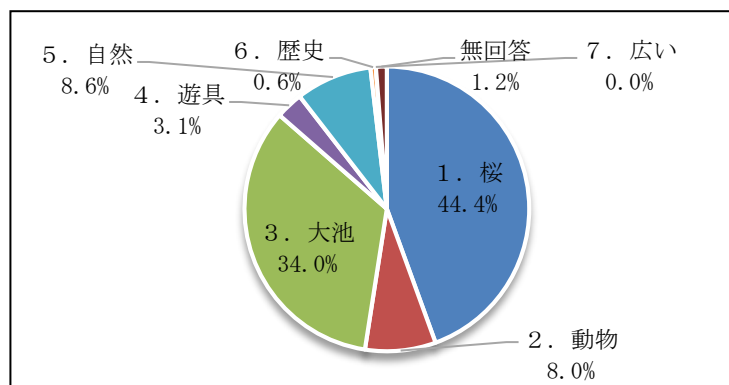
1. 満足	10人
2. やや満足	40人
3. どちらでもない	68人
4. やや不満	19人
5. 不満	19人
無回答	6人
合計	162人



「3. どちらでもない」(42.0%)と答えた方が最も多く、次いで「2. やや満足」(24.7%)、「4. やや不満」「5. 不満」(いずれも11.7%)の順となっています。

問8. 滝の宮公園と聞いて、最初にイメージするものは何ですか。(1つ選択)

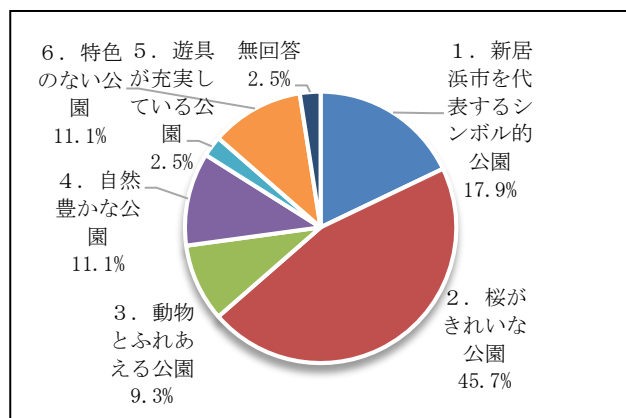
1. 桜	72人
2. 動物	13人
3. 大池	55人
4. 遊具	5人
5. 自然	14人
6. 歴史	1人
7. 広い	0人
無回答	2人
合計	162人



「1. 桜」(44.4%)、「3. 大池」(34.0%)と答えた方が多くなっています。

問9. 現在の滝の宮公園にどのようなイメージをもっていますか。(1つ選択)

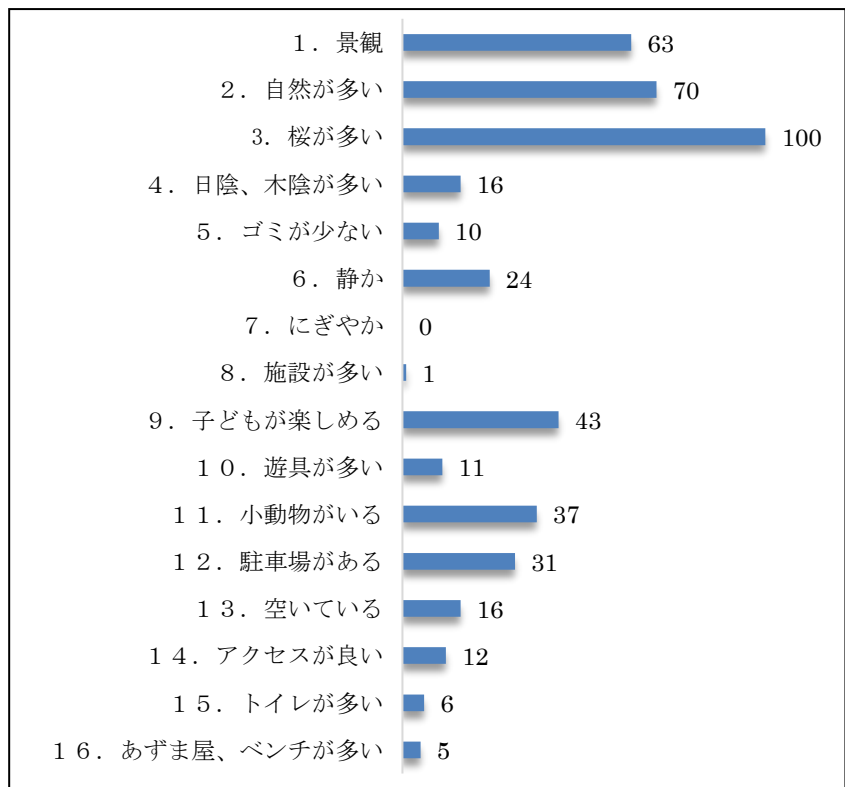
1. 新居浜市を代表するシンボリック公園	29人
2. 桜がきれいな公園	74人
3. 動物とふれあえる公園	15人
4. 自然豊かな公園	18人
5. 遊具が充実している公園	4人
6. 特色のない公園	18人
無回答	4人
合計	162人



「2. 桜がきれいな公園」(45.7%)と答えた方が最も多く、次いで「1. 新居浜市を代表するシンボリック公園」(17.9%)、「4. 自然豊かな公園」「6. 特色のない公園」(いずれも11.1%)、「3. 動物とふれあえる公園」(9.3%)の順となっています。

問10. 滝の宮公園の「良い」と思うところは何ですか。(3つ選択)

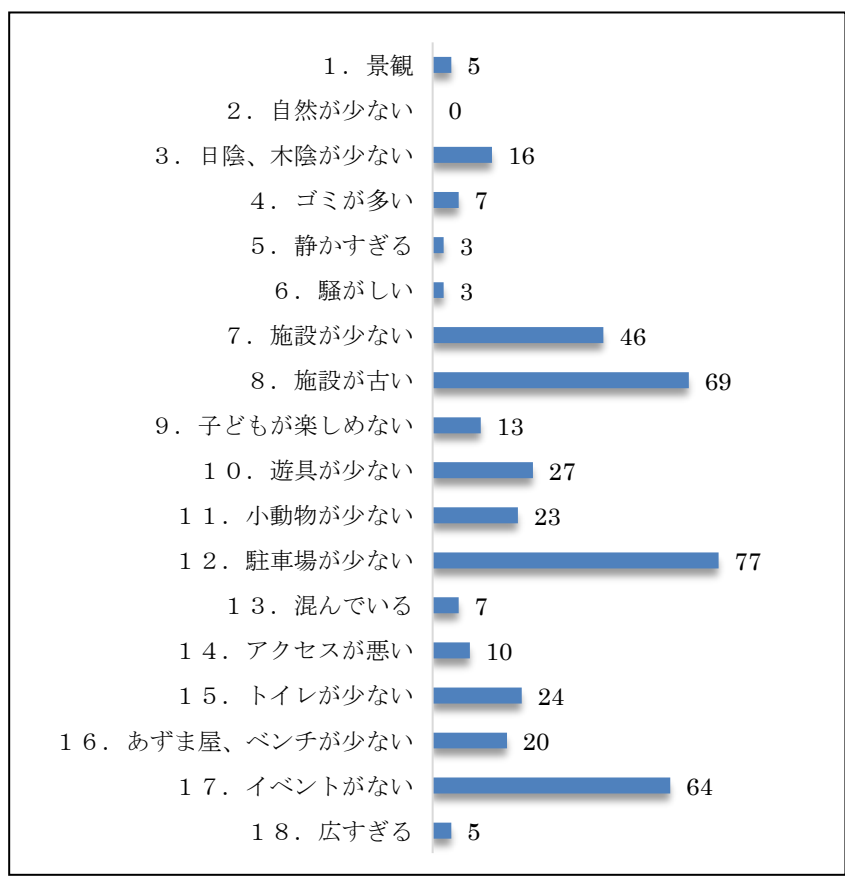
1. 景観	63人
2. 自然が多い	70人
3. 桜が多い	100人
4. 日陰、木陰が多い	16人
5. ゴミが少ない	10人
6. 静か	24人
7. にぎやか	0人
8. 施設が多い	1人
9. 子どもが楽しめる	43人
10. 遊具が多い	11人
11. 小動物がいる	37人
12. 駐車場がある	31人
13. 空いている	16人
14. アクセスが良い	12人
15. トイレが多い	6人
16. あずま屋、ベンチが多い	5人



「3. 桜が多い」(100人)、「2. 自然が多い」(70人)、「1. 景観」(63人)などが、滝の宮公園の「良い」と思うところとして多く挙げられています。

問11. 滝の宮公園の「悪い」と思うところは何ですか。(3つ選択)

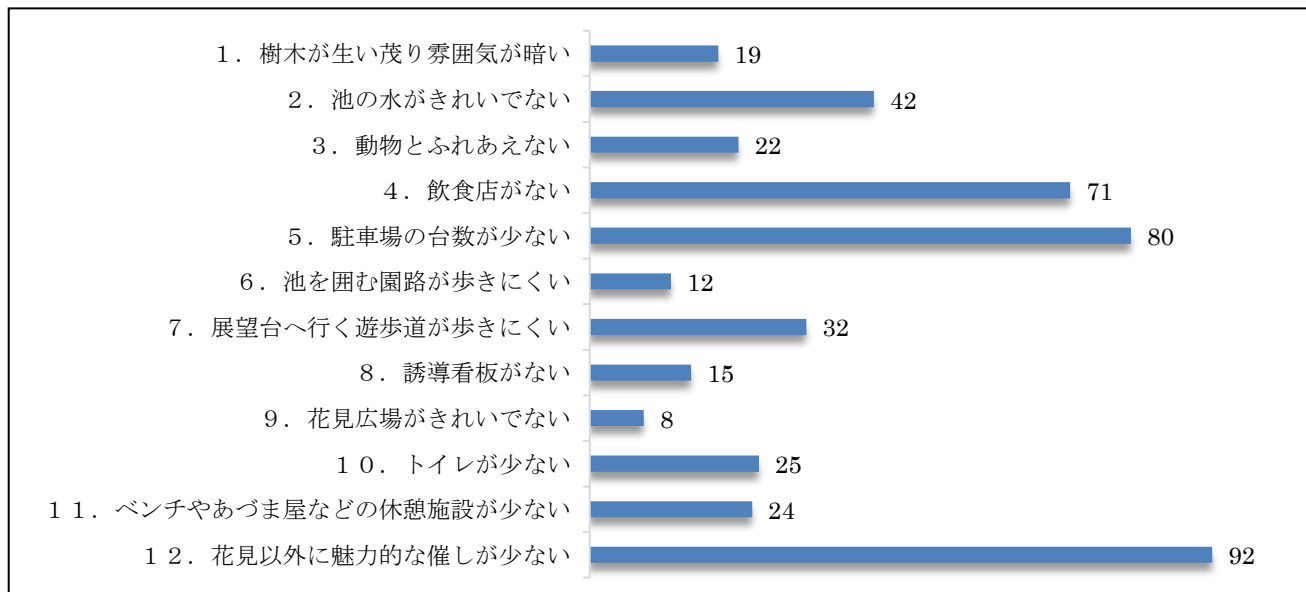
1. 景観	5人
2. 自然が少ない	0人
3. 日陰、木陰が少ない	16人
4. ゴミが多い	7人
5. 静かすぎる	3人
6. 騒がしい	3人
7. 施設が少ない	46人
8. 施設が古い	69人
9. 子どもが楽しめない	13人
10. 遊具が少ない	27人
11. 小動物が少ない	23人
12. 駐車場が少ない	77人
13. 混んでいる	7人
14. アクセスが悪い	10人
15. トイレが少ない	24人
16. あずま屋、ベンチが少ない	20人
17. イベントがない	64人
18. 広すぎる	5人



「12. 駐車場が少ない」(77人)、「8. 施設が古い」(69人)、「17. イベントがない」(64人)などが、滝の宮公園の「悪い」と思うところとして多く挙げられています。

問12. 現在の滝の宮公園で改善した方がよいと思う点がありますか。(3つ選択)

1. 樹木が生い茂り雰囲気が暗い	19人
2. 池の水がきれいでない	42人
3. 動物とふれあえない	22人
4. 飲食店がない	71人
5. 駐車場の台数が少ない	80人
6. 池を囲む園路が歩きにくい	12人
7. 展望台へ行く遊歩道が歩きにくい	32人
8. 誘導看板がない	15人
9. 花見広場がきれいでない	8人
10. トイレが少ない	25人
11. ベンチやあづま屋などの休憩施設が少ない	24人
12. 花見以外に魅力的な催しが少ない	92人

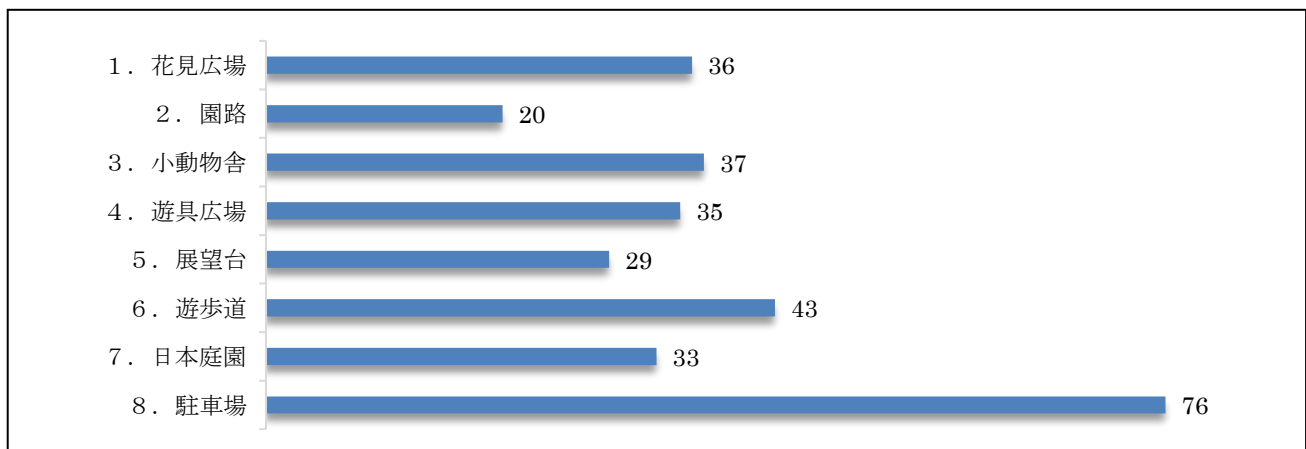


「12. 花見以外に魅力的な催しが少ない」(92人)、「5. 駐車場の台数が少ない」(80人)、「4. 飲食店がない」(71人)、「2. 池の水がきれいでない」(42人)などが、滝の宮公園で改善した方がよいと思う点として多く挙げられています。

問13. 滝の宮公園でより充実を望む施設は、次のどれですか。(2つ選択)

1. 花見広場	36人
2. 園路	20人
3. 小動物舎	37人
4. 遊具広場	35人

5. 展望台	29 人
6. 遊歩道	43 人
7. 日本庭園	33 人
8. 駐車場	76 人

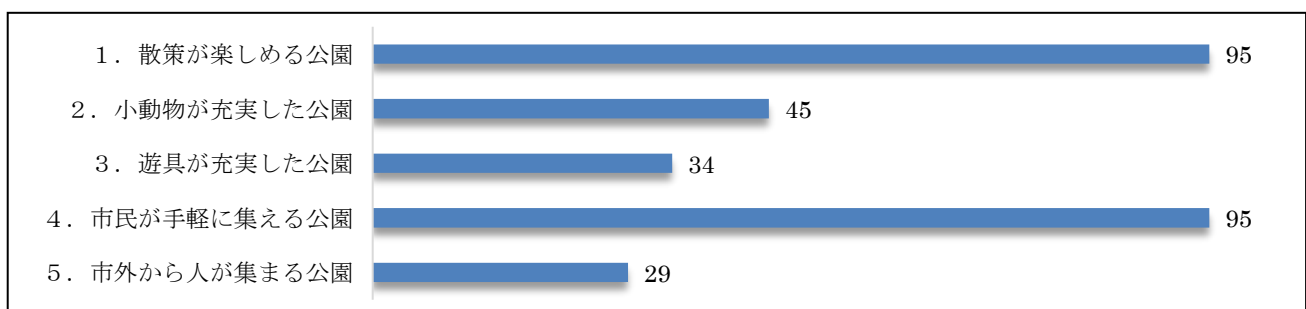


滝の宮公園でより充実を望む施設としては、「8. 駐車場」(76 人) が最も多く挙げられています。

その他には、「6. 遊歩道」(43 人)、「3. 小動物舎」(37 人)、「1. 花見広場」(36 人)、「4. 遊具広場」(35 人) などが多く挙げられています。

問 1 4. 滝の宮公園の再整備 (リニューアル) に期待するものは何ですか。(2つ選択)

1. 散策が楽しめる公園	95 人
2. 小動物が充実した公園	45 人
3. 遊具が充実した公園	34 人
4. 市民が手軽に集える公園	95 人
5. 市外から人が集まる公園	29 人

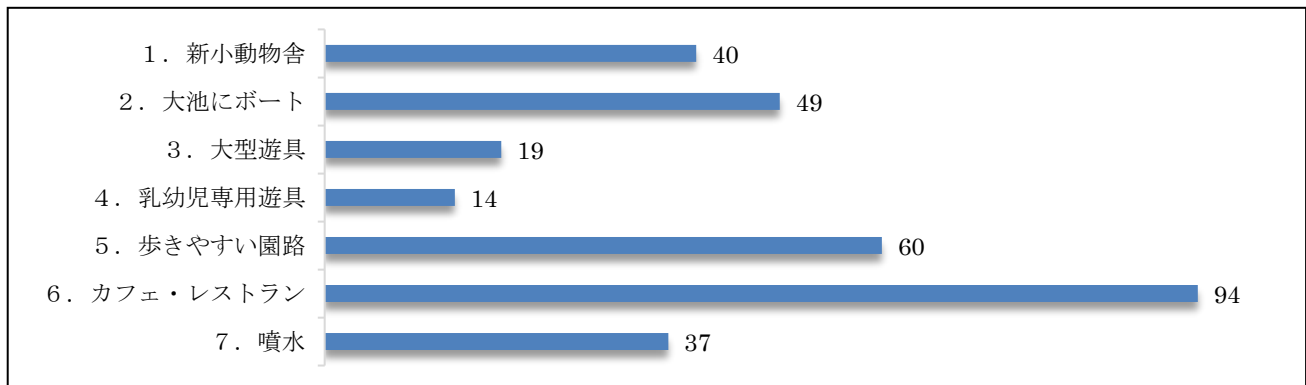


滝の宮公園の再整備 (リニューアル) に期待するものとしては、「1. 散策が楽しめる公園」、「4. 市民が手軽に集える公園」(いずれも 95 人) が多く挙げられています。

問 1 5. 滝の宮公園にあったら良いと思う施設は、次のどれですか。(2つ選択)

1. 新小動物舎	40 人
2. 大池にボート	49 人
3. 大型遊具	19 人

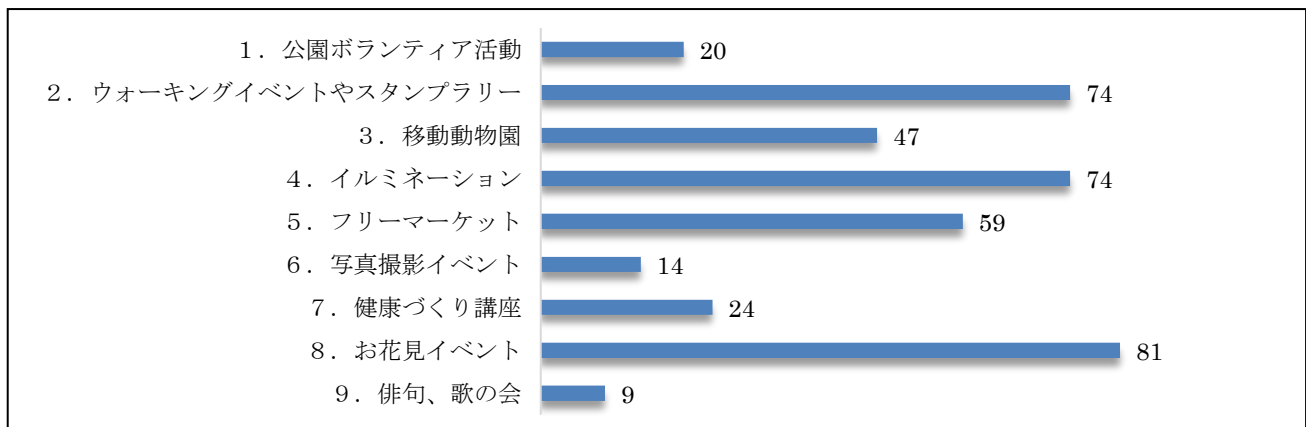
4. 乳幼児専用遊具	14人
5. 歩きやすい園路	60人
6. カフェ・レストラン	94人
7. 噴水	37人



滝の宮公園にあったら良いと思う施設としては、「6. カフェ・レストラン」(94人)が最も多く挙げられています。その他には、「5. 歩きやすい園路」(60人)、「2. 大池にボート」(49人)、「1. 新小動物舎」(40人)、「7. 噴水」(37人)などが多く挙げられています。

問16. 滝の宮公園であったら参加してみたいイベントや活動はありますか。(複数選択)

1. 公園ボランティア活動	20人
2. ウォーキングイベントやスタンプラリー	74人
3. 移動動物園	47人
4. イルミネーション	74人
5. フリーマーケット	59人
6. 写真撮影イベント	14人
7. 健康づくり講座	24人
8. お花見イベント	81人
9. 俳句、歌の会	9人



「8. お花見イベント」(81人)、「2. ウォーキングイベントやスタンプラリー」「4. イルミネーション」(いずれも74人)、「5. フリーマーケット」(59人)などが、滝の宮公園であったら参加してみたいイベントや活動として多く挙げられています。

問17. 滝の宮公園に対して気になる点や要望などがあればお書き下さい。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・市民の憩いの場所にはなっていないと思う。広いだけで施設や散策コースが充実していない感じがした。
- ・良い公園ですが、有効に利用されていないのではと感じます。ウォーキングやランニングをする人が増えているので、そういう人たち向けに池の周りの園路に距離表示をしたり、公園内のコースをつくって表示したりするのはどうでしょうか。
- ・子どもが小さい頃は時々利用していました。今現在どのようになっているのかわかりませんが、池の周りの柵や、遊具施設近くにお手洗いがあった方が親子連れには助かると思います。
- ・池の外周は夜間ウォーキングをする人にとっては暗いのではないかと思います。昼間蓄電し、夜自動点灯する太陽電池式の照明器具を設置するのはどうでしょうか。
- ・全体的に不衛生なイメージがあるので、動物コーナー、遊具コーナー、飲食コーナーのスペース分けをすると良いと思います。
- ・野良猫が駐車場におり、糞などによる衛生面が気になる。
- ・とにかく池の水の汚さ、夏場の臭いがひどいと思います。トイレも、使う人のマナーの悪さもありますが、もう少し綺麗にならないでしょうか。
- ・全てのトイレに子どものオムツ替えスペースを設置してほしい。
- ・入口のところに公園全体図がほしい。
- ・民間のレストランを入れて、モーニング・ランチ・ディナーができる近代的な人が寄る施設にしてほしい。
- ・もう少し屋根付きベンチがあればと思う。
- ・樹木が生い茂って暗いのかもかもしれませんが、今の遊歩道に雰囲気は木陰が多くて涼しいし山らしい静かさがあって私は好きです。
- ・展望台からの景色はとても綺麗でたまに観に行きますが、階段などが古く錆びている印象なので、展望台も綺麗になったらいいなと思う。
- ・展望台駐車場への道路が狭い。普通車ではあまり行きたくない。
- ・展望台への山道の自然な感じが好きなので、そこはあまりいじらないでほしい。池にボートがあれば乗りに行きます。
- ・ボートを復活させてほしい。動物も以前より大分減ってしまったので、もう少しいたらいいのと思う。
- ・水遊びできる場所、噴水と一体の遊ぶ所がほしい。ボートもいいけど、危険対策を十分にしてください。
- ・水遊びのスポットがあると夏は人が集まると思う。地域にはボールを使って遊べる広い場所がほとんどない。大きな公園にそのスペースがあると休みの日に行って遊ぼうと思うかも。
- ・池にアヒルとかの鳥を増やしてほしい。公園広場に小動物とかの動物園を拡大し、遊具を増やしてほしい。
- ・飼育している動物は、みんな動物園に行ってみるのではなくても良いと思う。今飼育している動物のところに、他の公園にはない珍しい遊具を設置する方が喜ばれると思います。
- ・小動物がいることは嬉しいですが、子どもたちが色々な食べ物を与えていることが気になりました。悪気はないようでしたが、動物を置いておく以上は、健康管理をもっとお願いしたいです。
- ・健康年齢向上のため、高齢者向け遊具があってもよいのではないか。
- ・子どもが楽しめるもの、例えば自然の中にアスレチックとか。そうすれば若い世代の利用者が増える。
- ・駐車場が少ない。もう少し駐車場がほしい。
- ・花見シーズンは駐車場が少なすぎる。その時期だけでも臨時駐車場や警備員を準備するべき。
- ・駐車するところがなくて帰ったことがある。もう一度行ってみたいと思わせるところが少ないと思う。

- ・公園を知らない市民が多いので、PR活動を強化してほしい。
- ・春の花見だけではなく、秋の紅葉も綺麗です。もっと宣伝してライトアップしてほしい。
- ・春の花見以外にも季節のお花が楽しめるように、池の周りや山道にお花がほしい。
- ・桜の木の老化が目立っている。
- ・花見スポットとして以外で、行ってみたいと思うようなイベント（野外コンサート、フリーマーケットなど）を企画してほしい。
- ・滝の宮公園は静かで美しい公園なので、必要以上のイベントや改善工事などはなくてよいと思う。市民の大切な公園として、いつまでも維持したい。
- ・歴史ある公園としてリニューアルして観光ルートとして組み込んでほしい。立派な自然を一体として取り組んでほしい。

<まとめ>

本アンケート調査結果では、滝の宮公園の「イメージ」について、「桜」が44.4%、次に「大池」が34.0%であり、「良い」と思うところについても「桜が多い」、「自然が多い」、「景観」等の回答が多く挙げられています。皆様にとっての滝の宮公園の良い印象が、「桜」や「自然」等の景勝にあり、滝の宮公園を自然豊かなきれいな公園と感じていただいていることがわかりました。また、滝の宮公園を「利用した目的」については、「花見」が88人、「散歩や休憩」が78人と多く、「リニューアルに期待するもの」についても、「散歩が楽しめる公園」、「市民が手軽に集える公園」が多く挙げられており、滝の宮公園は子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の方が、レクリエーションや健康づくりなど、それぞれの目的を持って自然の中で安全に集える場所となっており、今後もそういう場であることが望まれていることがわかりました。

しかしながら、「悪い」と思うところでは、「駐車場が少ない」、「施設が古い」、「イベントがない」という回答が多く、さらに、「改善した方がいい」ところについても、「駐車場が少ない」、「花見以外のイベントがない」との回答が挙げられおり、施設の老朽化や充実度、施設の活用不足についてのご意見が多く寄せられております。

本アンケートでは、滝の宮公園が開設から60年以上経過していることから、「施設が古い」ことや、「駐車場が少ない」等について、特に施設整備について皆様にご不満を感じていることを再確認できたとともに、「カフェ・レストランの設置」や「各種イベントがあれば参加したい」等の新しい公園の姿を求められる積極的なご意見も多く頂き、施設整備の改善を求めたハード面と、公園を活用するソフト面の両面から、滝の宮公園に多くの関心を持って頂いていることを感じとることができました。

今回計画しております滝の宮公園のリニューアルでは、学識経験者や関係する各団体の代表者からなる「新居浜市滝の宮公園リニューアル計画策定委員会」を発足し、市民の皆様からのご意見を基に、計画を策定することとしております。本アンケート結果につきましても、策定委員会での検討項目として活用させていただき、世代を問わず市民の皆様から愛される魅力的な滝の宮公園となるように計画策定に努めてまいります。

(担当課：都市計画課)

テーマ③ 新居浜太鼓祭りにおける高校生等のかき夫参加について

【調査趣旨】

毎年10月の新居浜太鼓祭りにおいて、太鼓台同士の鉢合わせ防止やかき夫確保のため、市内太鼓台関係者ほか市民の皆さん等より、高校生等の学生をかき夫として参加させるようにするべきであるとのこと要望が市に対して寄せられております。

高校生等のかき夫参加については、新居浜市が全国に誇る太鼓祭りの伝統文化継承や祭礼行事の担い手確保、シビックプライド（都市への誇りや愛着）の醸成等のメリットがあると考えられますが、一方で、鉢合わせによる負傷や飲酒・喫煙、学業への影響等のリスクが懸念されることから、市内の高等学校及び中学校においては、学生のかき夫参加が禁止されているのが現状です。

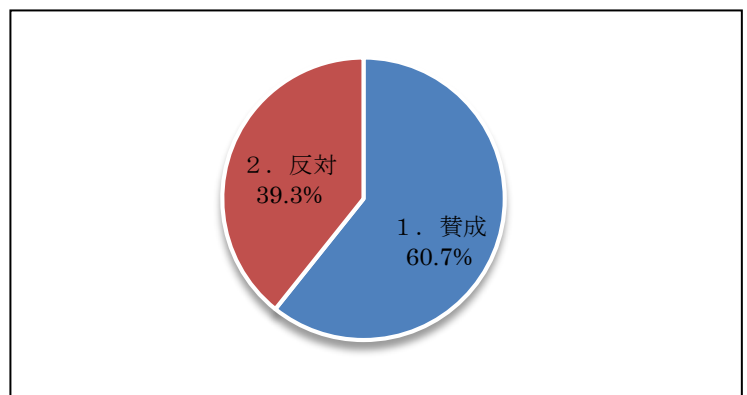
今回のアンケートでは、高校生等の学生のかき夫参加について、市民の皆さんの意識や意見をお伺いし、今後の更なる検討に活かしてまいりたいと考えております。

（担当課：運輸観光課）

（※問1はモニター属性確認のための設問であり、省略）

問2. アンケート説明文のとおり、高校生等のかき夫参加については、メリット・デメリット両方あると考えられます。高校生等のかき夫参加について、あなたは賛成ですか？ 反対ですか？
（1つ選択）

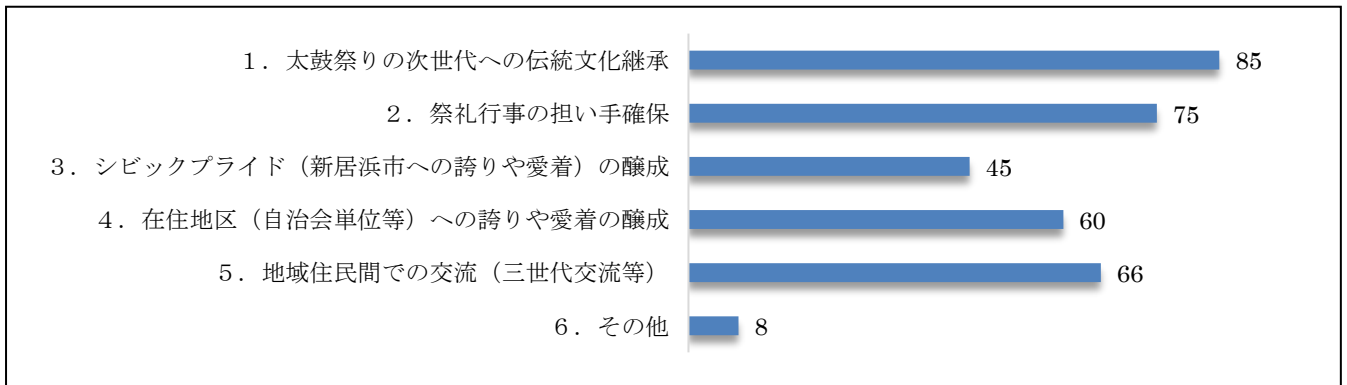
1. 賛成	99人
2. 反対	64人
合計	163人



「1. 賛成」(60.7%)と答えた方が、「2. 反対」(39.3%)よりやや多くなっています。

問3. 問2で「1. 賛成」と回答された方にお伺いします。高校生等がかき夫として参加することにより、どのような良い影響があると思いますか？（複数選択）

1. 太鼓祭りの次世代への伝統文化継承	85人
2. 祭礼行事の担い手確保	75人
3. シビックプライド（新居浜市への誇りや愛着）の醸成	45人
4. 在住地区（自治会単位等）への誇りや愛着の醸成	60人
5. 地域住民間での交流（三世代交流等）	66人
6. その他	8人



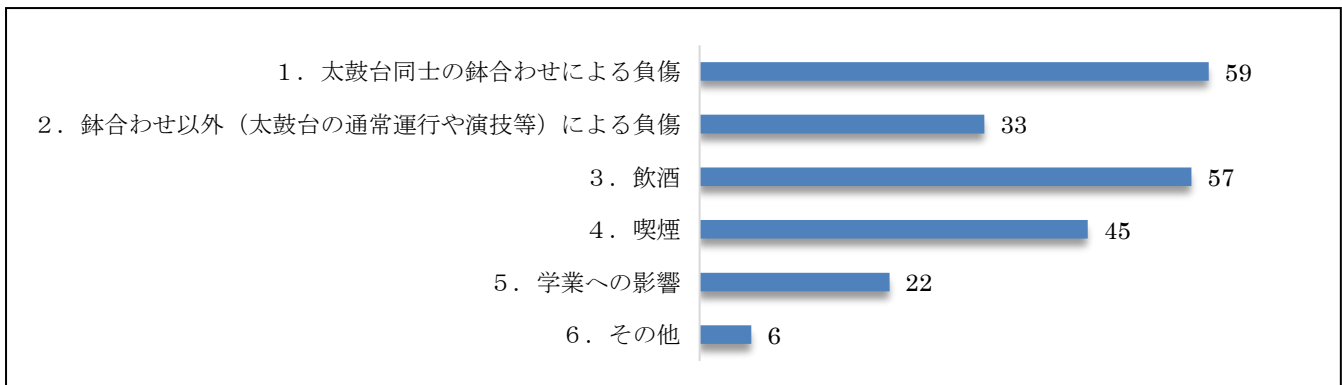
「1. 太鼓祭りの次世代への伝統文化継承」（85人）、「2. 祭礼行事の担い手確保」（75人）、「5. 地域住民間での交流（三世代交流等）」（66人）などが、考えられる良い影響として多く挙げられています。

問4. 問3で「6. その他」と回答された方にお伺いします。高校生のかき夫参加により考えられる良い影響を自由に記入してください。（自由記入）

- ・ 社会人としての責任、務め等多数の社会勉強になる。
- ・ 高校生に大人としての自覚も生まれてくるのではないかな。
- ・ 国会で18歳を成人とみなすのだから、参加したい人は参加させた方が良いと思う。16歳と17歳は親の許可を取る。
- ・ 高校生が参加することにより、大人たちの間で「安全運行をしないとイケない」という思いが芽生えるのではないかな。
- ・ 鉢合わせの予防に繋がることを期待します。
- ・ 現在はかき夫がどの太鼓台も少ない。20年前は高校生も多数参加していた。最近の高校生は祭りに参加していないので、地元へ愛着が少なく市外へ出ていく人が多い。昔は祭りに参加したいので近くに就職したい人が多かった。
- ・ 本人たちの意思を尊重したい。高校生でも参加したいとの声があれば、市としては全力で応援すべき。
- ・ 平和運行がちゃんと守られるなら、高校生だからと言ってかき夫参加に反対する理由はない。

問5. 問2で「2. 反対」と回答された方にお伺いします。高校生等がかき夫として参加することにより、どのような悪影響があると思いますか？（複数選択）

1. 太鼓台同士の鉢合わせによる負傷	59人
2. 鉢合わせ以外（太鼓台の通常運行や演技等）による負傷	33人
3. 飲酒	57人
4. 喫煙	45人
5. 学業への影響	22人
6. その他	6人



「1. 太鼓台同士の鉢合わせによる負傷」(59人)、「3. 飲酒」(57人)、「4. 喫煙」(45人)などが、考えられる悪影響として多く挙げられています。

問6. 問5で「6. その他」と回答された方にお伺いします。高校生等のかき夫参加により考えられる悪影響を自由に記入してください。(自由記入)

- ・太鼓台同士の鉢合わせ行為が継承されてしまう。鉢合わせをなくす方法として高校生を参加させるのではなく、鉢合わせをしない太鼓台への参加を考えるべき。
- ・悪い風習が引き継がれることとなる。A地域とB地域の相性が悪いこと等を知る。
- ・暴力団関係者との接触による悪影響。
- ・性的な犯罪が起こる可能性が強い。
- ・世の中はお祭りを好きな者だけではなく、嫌いな者の疎外感もあると思います。それがいじめへと繋がらないか、と考えています。
- ・もともと素行の悪い子がさらに悪くなる。

問7. 高校生のかき夫参加について、高校関係者からは、「学生の安全が確保されることが最低条件である」とのご意見が出されているところです。あなたは、高校生等のかき夫参加を実現させるためには、誰が、どのような取組を行うことが必要だと考えますか？(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- 【高校生のかき夫参加に「賛成」と答えた方の意見】**
- ・各太鼓台の責任者と高校の責任者との間で、高校生のかき夫参加の取り決め事項を作成して、参加条件を満たしている者に限り、参加を認めれば良いと思います。
 - ・自治会及び太鼓台関係者の中から、高校生の安全を見守る組織をつくり、高校生の安全を確保するとともに、祭り前に自治会、太鼓台関係者と話し合いをする。
 - ・自治会が中心となり飲酒、人や太鼓台同士の喧嘩を排除する。
 - ・自治会の中に高校生をまとめ、管理する（飲酒、喫煙等の監視や安全のための指導等）役が必要。
 - ・各太鼓台の代表が、学生がどこの誰かをしっかり把握して、当日だけではなく前もって練習して、太鼓台のどの位置をかくのか等を指導していく取り組みが必要と思う。
 - ・自治会が高校生を集めて事前にミーティングする。何が正しいか、守れなかったらどうするかなど、自分のことは自分で責任を取らせるようにする。
 - ・高校生本人に、日常から青年団活動にも積極的に参加させる。

- ・高校生へアンケートをして、参加したい生徒の意見を聞く。
- ・住んでいる地区以外の参加を認めないように、運行責任者が厳しくチェックすること。
- ・まずは地区の運営委員会から各学校に太鼓台参加の申し入れを行い、学生の安全を守るために各自治会、各太鼓台の責任者が責任を持つことが条件だと思う。また、飲酒やたばこの問題もあると思うが、各太鼓台で責任を持つよう指導してはどうか。
- ・鉢合わせが禁止されているが、現実的に有名無実になっている。行政や運営委員会が、しっかりした決め事（罰則規定など）を各太鼓台に徹底させた上で、各太鼓台の責任者及び大人が子どもの安全性を確保する。
- ・高校生に喧嘩による被害が出た場合には、関係した太鼓台の長期の出場停止を課すべきだと思います。
- ・太鼓台運営委員会で、高校生の飲酒・喫煙禁止のマニュアルを各自治会に周知徹底させておく。
- ・安全教育（喧嘩行為の徹底禁止）を、まず自治会・青年団に厳しく行う。大人へのペナルティを徹底してから高校生の管理を任す。
- ・太鼓台運営委員会の責任者等による安全教育を実施し、身勝手な行動をしない、指示に従う、守らなかったら直ちに参加を解く等を誓約書に明記し、自筆で署名させる。
- ・太鼓台運営委員会と高校との情報交換会を開催して、高校生に飲酒・喫煙等させないことを確約させる。
- ・実現可能かわからないけれど、高校から数人の先生も参加、引率してはどうか。市や自治会と連携した取り組みをする。一般かき夫とは別の所で食事や休憩をとる、飲酒や喫煙は絶対に禁止。高校生の着る法被は一般のものと違うものにして、本人も周囲も高校生であることの意識強化と周知を行う。
- ・各高校が生徒のかき夫場所の把握、法被は高校側が管理し、高校と各自治体が協力し合えばいいのでは。
- ・保護者と自治会が全責任を負うことが最低条件である。安全確保は学校関係者が負う必要はない。
- ・保護者の責任が一番に問われることだと思う。家庭で責任を持ち、子どもと話し合い、自分で責任を持って参加できる子どもに育てる家庭、保護者であるべきだ。まずPTAでよく話し合うことも大切であると思う。
- ・上部地区と川西・川東地区では太鼓台の見せ方やかき手・見物客の意識がかなり違うため、地区別の取り組み対応が必要だと思います。

【高校生のかき夫参加に「反対」と答えた方の意見】

- ・高校生のかき夫には反対ですが、高齢化が進み若い人が減少している現状を考えると、高校生のかき夫も必要かと思います。各高校の責任者、PTA（父兄の代表者）等と何回か意見交換の場を設け、ルール作りをしてはいかがでしょうか。
- ・単独参加ではなく、グループ（〇〇高かき夫連など）をつくり、学校もリーダーと接触を密にして、鉢合わせには参加しない、付和雷同な行為はしない等ルールを決める。一般のかき夫とは服装も変える必要あり。
- ・保護者の承諾が必要ですが、それと同時に太鼓台運行する自治会役員から、高校生かき夫に対しての注意と指導が重要になってくると思います。
- ・受け入れる側が高校生であることを認識して、大人と同様に扱わないこと。高校生の危険行為などあれば、注意、処分できること。
- ・高校生のかき夫自体に反対です。
- ・高校生を誰かが責任を持って指導したり、安全の確保というのはなかなか難しいのではないかと思います。
- ・安全が確保されるという条件はない、というかできないと思う。
- ・高校生は夜間参加しない、鉢合わせには参加しない、などのルールを設ける必要があるが、それを監視するのは難しいと思う。禁止されている鉢合わせを毎年行っている大人に、子どもを監視できるとは思えない。
- ・高校生のかき夫参加を前提とした、この質問おかしくないですか？逆に、安全が確保できると思いますか？大人ですら怪我人、死人が毎年出るのに。

- ・そもそも学生の安全を確保する、ということではなく、太鼓祭りに携わる、運営委員始めかき夫全員の安全が常に確保されるべきであると考えます。毎年怪我人が出ていることを踏まえると、その最低条件はクリアできるとは思えません。未成年であり、自分で全てにおいて責任を取れる年齢ではないことから考えて、認めるべきではないと思います。
- ・太鼓台の鉢合わせをしないことが絶対条件。鉢合わせをすれば安全は保障されない。太鼓台運行に関わる関係者全員が本気になることです。「鉢合わせが無くならなければ、太鼓台秋祭りは止めてもやむを得ない」くらいの覚悟がなければ鉢合わせは無くならないのでは。
- ・各地区の太鼓台関係者による平和運行の実現が最優先。大人がルールを守らない限り、高校生の参加は難しい。高校生が誇りを持って安全に運行できるように体制を整えるべき。

問8. 仮に高校生等がかき夫として参加する場合、どのような条件やルールが必要だと思いますか？（例：かき夫登録の徹底、保護者の承諾書提出、参加時間の制限等）（自由記入）

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

【かき夫登録の徹底、保護者の承諾書提出、参加時間の制限】

- ・例示されている、かき夫登録・保護者の承諾書提出は絶対条件だと思う。
- ・設問の例にある、かき夫登録の徹底、保護者の承諾書提出、参加時間の制限は全部必要。
- ・かき夫登録、保護者の同意書、参加時間は日没まで、など。
- ・かき夫登録の徹底、これはしっかり行う。保護者の承諾書も大事。時間もある程度決める。
- ・かき夫登録は必須。保護者の承諾書があれば良いと思います。参加時間については各人の自由と思いますが、最低限度の節度は持ってほしい。
- ・保護者の承諾は必要条件だと思います。
- ・18歳は成年になったので、17歳以下の高校生には親の承諾書を必要とする。
- ・参加時間の制限（夜間は厳禁等）は必須だと思う。
- ・参加できる時間帯を限定して、時間は必ず守る。周囲の大人が声かけする。

【その他】

- ・もちろん設問の例にある書類等は出してもらおう。あとは学校承諾書の提出。
- ・学校との連携が必要。学校に、かき夫登録した自治会や参加する日程、時間などを記入した用紙を提出する。
- ・保護者の承諾書提出に加え、学校への届け出と本人の誓約書提出。
- ・責任者の指示に従う、という本人承諾書を書いてもらう。
- ・保護者の承諾書と、太鼓台役員からも「責任を持って高校生かき夫を酒やたばこ、喧嘩から守る」という誓約書を保護者に渡す。本人もそういうことをしないという誓約書を書く。太鼓台同士の喧嘩をしないという誓約書を書く。全てを破った場合の罰則の明確化をする。
- ・学生のかき夫の保険加入。
- ・飲酒、喧嘩をさせない。高校生としての自覚を持たせる。
- ・飲酒・喫煙禁止、学業優先。古いようですが、学生は学業、部活が基本だと思っています。
- ・学校をさぼっての参加はさせない、飲酒・喫煙を見過ごさない等、本人の自覚と周りの大人たちにも、同じような誓約書を提出させる。
- ・未成年者であることを参加者はもちろん地域の人にも認識し、社会人としての最低限のルール（飲酒・喫煙等）は守る。

- ・学校で決められている校則の違反はしない。
- ・鉢合わせのない地域のかきくらべのみの参加とする。太鼓を安全にかくために、地域での指導を徹底する。
- ・研修を受けさせる。責任者の監督。
- ・各太鼓台に高校生かき夫の安全管理をする責任者をつける。
- ・太鼓からすぐ離れられる場所にかく。場所を指定する。
- ・誰が見ても高校生だとわかるようなもの（腕章等）を身に付けさせる。
- ・一般かき夫と高校生の区別ができて、誰もが高校生の違反行為に注意できるよう、法被かズボンを区別する。
- ・参加時間を制限し、各高校へ帰って法被の返却とアルコールチェックを行う。
- ・太鼓台の給水車に酒類を積み込ませないよう自治会に徹底する。
- ・日頃から青年団活動、自治会活動等に高校生を参加させる。
- ・一緒に担ぐ大人のモラルを太鼓台運営委員に指導してもらう。
- ・生徒個人の身分証の市への提出だけでなく、保護者など血縁者の成人が1人以上は同伴すること。
- ・学生の自宅の自治会に限定する。
- ・自治会への加入は絶対条件。やはり素性のわかっている子に対しては、注意もしやすいし、気にかけてあげやすい。
- ・全て運営する人の強い意思統一であると思う。
- ・高校生のかき夫参加はあくまでも反対。
- ・太鼓台同士の喧嘩をなくすことが先。それができてから、高校生の参加を検討する。

問9. その他、高校生等のかき夫参加や、太鼓台の鉢合わせなどについて、ご意見がございましたら自由に記入してください。（自由記入）

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・高校生のかき夫参加には賛成です。地元生まれ育っているので、地元のお祭りに誇りを持ち、親しみを持ってほしい。そのためには、絶対に飲酒をさせないとか、最低限のルールをつくっていくこと。太鼓台の鉢合わせは絶対にやめてほしい。
- ・本来は今までどおり禁止にしたらいいと思いますが、高校卒業後は市外に出る人が多く、二度とかき夫として参加できないのも、可哀想で残念な気がします。根本的に、平和運行を実施し良識のある采配をすれば、何の問題も起こらないはずだと思います。上部地区のように統制のとれた運行を、他の地域に徹底してほしいです。観客から大きな拍手をもらうと、誇らしい気持ちにもなると思います。太鼓祭りは神事であることを忘れず、清々しく、雄大に行われることを願います。
- ・高校生のかき夫参加については反対的な意見もありますが、隠れて参加する生徒が多い中で、悪い印象がつきすぎるのもどうかと思います。それよりはルールを厳格化して、市外からも参加できるようになれば、もっと素敵な祭りになると思います。
- ・18歳が大人として認識されるようになり、家庭や地域もそれなりの指導が必要になってきている。責任ある行動を指導する機会となるのでは。
- ・ある程度のルールがあり、所属自治会での参加ならいいと思う。
- ・高校生かき夫はとていいことだと思いますが、一部のマナー違反で祭りが台無しにもなる、高校生本人にその自覚を持って参加してもらうことが一番だと思います。
- ・地域の繋がりを大切にするという観点から見ると、地元の高校生が祭りに参加することは悪いことではないと思います。しかし、毎年必ずどこかで喧嘩が起こること、怪我人がでていくということが、その気持ちに

ブレーキをかけていることは間違いありません。極端な話になりますが、鉢合わせがあった翌年は、新居浜市全体で祭りそのものを自粛するくらいのペナルティがないと喧嘩はなくならないと思います。賛否両論あると思いますが、新居浜市外から来た者が客観的に見ると、本当に安全運行を実現したいと思っているのであれば、全体的に対応が甘すぎる気がします。

- ちゃんと平和運行をしている上部地区の山根グラウンド統一寄せもあることから、こういったところで試験的に高校生のかき夫参加を行ってみては、と思います。模範を示し、「うねり」を起こし市全体へと広げていくことも必要ではないかと思います。高校生の参加メリットは大きいし、是非チャレンジして平和運行の大切さを大人の皆さんが学ぶべき一つの契機になったらと思います。
- 地域で次の世代を担う高校生を育てるのだという気風を育てる。高校、大学を卒業したら、地元で生活したいという希望が持てる新居浜市になるよう市民全員が協力する。
- 高校生が怪我をしないという保証は全くないので、参加しないことが望ましいと思います。
- 永遠に、鉢合わせのない祭りは無理だろう。高校生に怪我人がでたら、全国的に悪評の祭りになるだけ。
- 太鼓台の鉢合わせが一番心配なところである。勢いに乗り、年上の人たちと一緒に危険な行いをしそうなので心配である。
- 伝統文化の継承や地域での交流、市への誇りや愛着など良い影響もありますが、心配なこともあります。本人の心構えが大切ですが、周囲の大人がお祭り気分以学生に対するルールを守れないのではないかと不安です。
- 鉢合わせを皆が面白がっているのが実情。それはそれで仕方がないが、高校生を巻き込んではいけない。
- 鉢合わせが起こった場合、人同士の喧嘩がついて回ります。高校生がその喧嘩に巻き込まれないように各太鼓台の責任者が見守る必要があると考えます。
- 高校生は統一寄せやかきくらべなどイベントのみの参加とし、通常運行は成人以上とする。
- 太鼓台運営関係者が高校生の見本となるよう、喧嘩・鉢合わせなどをしない。自覚を持つ。他県からかき夫を雇うなどしない。市営球場でかきくらべをする。婦人会、学生、子どもたちでちょうさ踊りをする。
- 大人自身がまず鉢合わせをしないことが大切。飲酒、喫煙など悪い習慣を見せないことが良いのでは。すぐ真似したがるのが高校生くらいの年齢だと思うから、見せない・させないことが大切だろう。
- まずは高校生の参加不参加より、大人たちが安全に祭りを実施することができるように取り組むことが先決。
- やっていることがぬるいと思う。鉢合わせの取り締まりや処分、対策の話し合いを先延ばしにして、同じことを繰り返している現状で、高校生のかき夫参加なんて笑止千万。まずは鉢合わせのない年を20年連続で達成してからの話。現にここ数十年、鉢合わせをしていない地区もある。鉢合わせをしなくても運行できている地区がある以上、そちらに合わせるべき。
- 鉢合わせのない太鼓祭りの継続で、学生参加を考える。
- 現状の問題を十分に把握し、議論の項目や内容を整理して、手続き、順番をわかりやすくしてください。順序を間違えると悔いを残しますよ。
- 毎年、何か問題を残す祭りとなっている。高校生の見本となるよう大人はしっかり認識して事故のない祭りにしてほしい。
- 太鼓台の鉢合わせはあってはならないこと。上部地区のような他市、他県からも見に来られるような大事な観光資源として育てるべき。
- 伝統行事としての太鼓台の鉢合わせは、怪我人がでないように実施する分にはよいと思う。ただし、人同士の下品な喧嘩や太鼓台を私物化したような理由による鉢合わせには疑問を感じる。
- 喧嘩と鉢合わせは別物である。鉢合わせには醍醐味があり、必要である。技量が伴わないと危険なので練習を重ねる必要がある。

- ・鉢合わせした太鼓台の厳罰化をする。
- ・祭りは皆で盛り上げるものです。鉢合わせは絶対駄目。鉢合わせした太鼓台の運行停止期間は5年間とか長く設定すべき。
- ・太鼓台の鉢合わせを期待している市民が多数いることが、なくなる原因。教育による啓発が重要。
- ・子ども太鼓台を活用して、運用のマナーを教育する。
- ・上部地区のような喧嘩のない祭りには、市から当該太鼓台に奨励金を出すなど、暴力的な太鼓台と差別化すべきだと思います。毎年機動隊が近くにいるような行事は祭りではないと思っています。
- ・地域あつての太鼓台なので、地域の方々に迷惑をかけない。喧嘩したらお金もかかるし、人命も危ぶまれる。地区を代表して見事にかき上げることが美德であって、神事であることを忘れてはならない。

<まとめ>

新居浜市においては、新居浜太鼓祭りを全国に誇る伝統文化行事として発展させるため、また、多くの観光客に訪れていただく観光行事として広くPRしていくため、太鼓台の鉢合わせ等事故のない楽しい太鼓祭りの実現に向け、市政だより特集記事での啓発や、太鼓台関係者との平和運行実現に向けた検討等を行っています。

このような状況の中、太鼓台関係者や市民の皆さん等より、鉢合わせの抑止やかき夫確保を目的に、高校生等のかき夫参加を認めてほしいとの要望があることから、地域住民の皆さんの意識を把握したく、本アンケートを実施しました。

設問のうち問2において、高校生等のかき夫参加については、賛成の方が約6割、反対の方が約4割で、賛成のほうがやや多くなっています。賛成の方からは、「太鼓祭りの次世代への伝統文化継承」、「祭礼行事の担い手確保」、「地域住民間での交流」等のメリットがあるとの意見が示されています。しかしながら、「太鼓台同士の鉢合わせによる負傷」、「飲酒」、「喫煙」等を懸念し、高校生等のかき夫参加に反対される方が約4割を占める状況であることから、みんなが気持ちよく高校生等のかき夫参加を認められる状況には、まだまだ至っていないのが現状かと思えます。

言うまでもなく、本来お祭りは地域住民みんなが主役の行事ですので、高校生や、小中学生等についても自由に参加できるというのが当たり前の姿であるかと思えます。しかしながら、自由記述においても、今後の取組やかき夫参加における条件・ルール等についていろいろな意見をいただきましたように、子どもたちの保護者や学校側が安心して参加させられる環境に向けては、まだまだ課題が多い状況です。

いずれにしても、高校生等のかき夫参加のためには、保護者や学校側の理解を得ることが前提条件となります。市においては、自由記述を含め、今回いただいた多くのご意見を参考にしながら、鉢合わせ等事故の防止や、みんなが安心してお祭りに参加できる環境づくりに向け、啓発や太鼓台関係者への働きかけに努めてまいります。

(担当課：運輸観光課)